

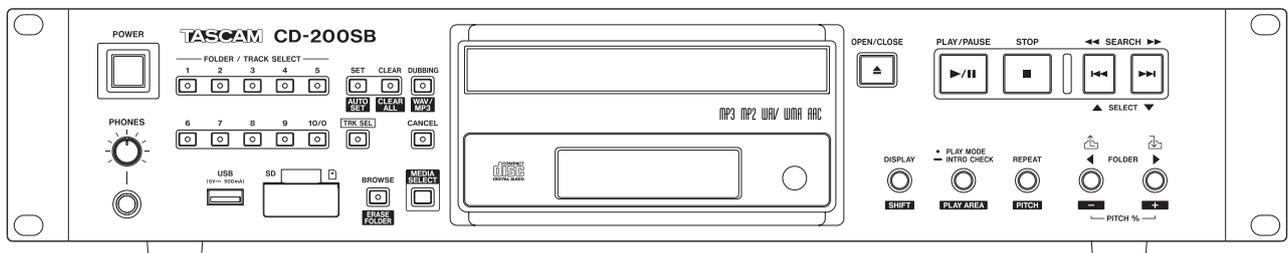
TASCAM

D01174801D

CD-200SB

CD / Solid State Player

取扱説明書



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p>警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上の隙間をあける 隙間をあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p>
 <p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>

	<p>注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p>
<p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。</p>
 <p>指示</p>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。また、モニター機器などの破損の原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>
 <p>注意</p>	<p>5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

電池の取り扱いについて

本機に付属するワイヤレスリモコンは、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

 警告 乾電池に関する警告	
 禁止	乾電池は絶対に充電しない 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

 警告 電池に関する警告	
 強制	電池を入れるときは、極性表示(プラスとマイナスの向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる 間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液がもれて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
 禁止	指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない 破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。
	金属製の小物類に携帯、保管しない ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
 分解禁止	加熱したり、火や水の中に入れない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

第1章 はじめに6	プログラムトラックを差し替える.....25
本機の概要.....6	プログラムトラックを追加する.....25
本機の構成.....6	プログラムを消去する.....25
本書の表記.....6	リピート再生.....26
商標および著作権に関して.....7	時間や文字情報の表示.....26
設置上の注意.....7	ピッチコントロール (CDのみ).....27
電源について.....7	イントロチェック.....28
結露について.....7	
製品のお手入れ.....7	第5章 ブラウズ機能29
SDカード / USBメモリーについて.....8	フォルダー、ファイルを確認する.....29
取り扱い上の注意.....8	
動作確認メディアについて.....8	第6章 ダイレクトフォルダー機能31
SDカード / USBメモリーのライトプロテクトについて.....8	ダイレクトフォルダー設定について.....31
Macに関する注意.....8	ダイレクトフォルダーを登録する.....31
CD (コンパクトディスク) について.....8	ダイレクトフォルダーを個別に登録する.....31
取り扱い上の注意.....8	ダイレクトフォルダーを一括登録する (AUTO SET).....32
アフターサービス.....9	ダイレクトフォルダーを個別に更新する.....33
	ダイレクトフォルダーを再生する.....34
第2章 各部の名称と働き10	ダイレクトフォルダーの再生範囲を設定する.....34
フロントパネル.....10	ダイレクトフォルダーの再生モードを選択する.....34
リアパネル.....12	ダイレクトフォルダーを再生中に
ディスプレイ.....13	フォルダーサーチ / ブラウズ機能で移動する.....35
ワイヤレスリモコン (TASCAM RC-CD200SB).....14	ダイレクトフォルダーを消去する.....35
	ダイレクトフォルダーの登録を個別に消去する.....35
第3章 準備16	ダイレクトフォルダーの登録を
接続する.....16	一括消去する (CLEAR ALL).....36
リモコンを準備する.....17	
乾電池の入れ方.....17	第7章 ダビング (コピー) 機能37
乾電池の交換時期.....17	ダビングの概要.....37
乾電池についての注意.....17	ダビングする.....38
リモコン使用上の注意.....17	すでにダイレクトフォルダーを
CDをセットする.....17	登録している1~10/0ボタンにダビングする.....39
SDカードを挿入する / 取り出す.....18	ダビングによる記録時間について.....40
SDカードを挿入する.....18	
SDカードを取り出す.....18	第8章 フォルダーイレース機能41
SDカードのライトプロテクトスイッチについて.....18	フォルダーを削除する.....41
USBメモリーを挿入する / 取り外す.....19	
USBメモリーを挿入する.....19	第9章 メッセージ42
USBメモリーを取り外す.....19	動作メッセージ.....42
再生メディアを選択する.....19	警告メッセージ.....42
	エラーメッセージ.....43
第4章 再生20	
再生可能なメディア / ファイル.....20	第10章 トラブルシューティング44
データCD / SDカード / USBメモリーの	
フォルダーとトラックについて.....20	第11章 仕様45
再生範囲.....21	定格.....45
再生範囲を設定する.....21	出力定格.....45
再生モード.....21	アナログオーディオ出力定格.....45
再生モードを選択する.....21	デジタルオーディオ出力定格.....45
再生する.....22	オーディオ性能.....45
トラックを選ぶ.....22	バックアップメモリー.....45
前後のトラックにスキップする.....22	一般.....46
トラック番号を指定する.....22	寸法図.....46
早送り / 早戻しサーチ.....23	
フォルダー再生	
(データCD / SDカード / USBメモリー).....23	
再生するフォルダーを選択する.....23	
プログラム再生.....23	
プログラムを設定する.....23	
プログラムを確認する.....24	

第1章 はじめに

このたびは、TASCAM CD / Solid State Player CD-200SBをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

本機の概要

- オーディオCD (CD-DA) の他に、WAV形式、MP3およびMP2形式のファイルを収録したデータCD (CD-ROM/R/RW) の再生が可能
- 2U、EIAラックマウントサイズ
- MP3、MP2、WAV、WMA、AAC形式のファイルを収録したSDカードやUSBメモリーの再生が可能
- アナログ出力 (RCAおよびXLR) およびデジタル出力 (コアキシャルおよびオプティカル) を装備
- ヘッドホンによるモニターが可能
- 数字ボタン (1~10/0ボタン) を装備したワイヤレスリモコン (TASCAM RC-CD200SB) を付属
- CDテキストおよびID3 / WMA / AACタグに対応し、文字情報 (アーティスト名、アルバム名、トラック名など) の表示が可能
- 4種類の再生モード (連続再生、シングル再生、ランダム再生、プログラム再生)
- リピート再生機能 (オン/オフ)
- データCD / SDカード / USBメモリー再生での再生範囲指定機能 (ALL PLAY、FOLDER)
- CD再生へのピッチコントロール機能 (±14%)
- イントロチェック機能
- 時間表示 (オーディオCDはトラック経過時間、トラック残時間または総残時間、データCDはトラック経過時間、SDカード / USBメモリーはトラック経過時間、トラック残時間) が可能
- CDドライブは、10秒のショックブルーフメモリー (音飛びガード) を搭載
- CDからSDカード / USBメモリーへのダビング (コピー) 機能
- 本体もしくはワイヤレスリモコンの数字ボタン (1~10/0ボタン) でのダイレクトフォルダー機能 (SDカード / USBメモリー)
- ブラウズ機能 (SDカード / USBメモリー)
- フォルダーイレース機能 (SDカード / USBメモリー)

本機の構成

本機の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

● 本体	x1
● ワイヤレスリモコン (RC-CD200SB)	x1
● 単4形乾電池	x2
● ラックマウントビスキット	x1
● 保証書	x1
● 取扱説明書 (本書)	x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン / 端子などを「**SET**ボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“**REPEAT**”のように“**_**”で括って表記します。
- 「CD-DA」形式のことを「オーディオCD」形式と表記する場合があります。
- MP3、MP2オーディオファイルやWAVオーディオファイルを記録したCDを「データCD」と表記します。
- 「オーディオCD」、「データCD」を総称して、「CD」と表記する場合があります。
- 「USBフラッシュドライブ」のことを「USBメモリー」と表記します。
- 「SD/SDHCメモリーカード」のことを「SDカード」と表記します。
- 本機で再生可能なMP3 / MP2 / WAV / WMA / AACファイルの総称として「音楽ファイル」と表記する場合があります。
- 現在選択中のメディアのことを「カレントメディア」と表記します。
- 現在選択中のフォルダーのことを「カレントフォルダー」と表記します。
- 現在選択中のファイルのことを「カレントファイル」と表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like). An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

振動の多い場所

窓際などの直射日光が当たる場所

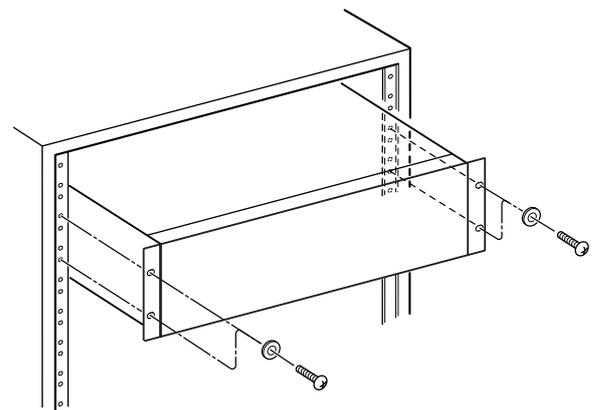
暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所

極端に温度が低い場所

湿気が多い場所や風通しが悪い場所

ほこりの多い場所

- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。
なお、ラック内部では、本機の上に1U以上（5cm以上）のスペースを開けてください。



電源について

- AC100V（50-60Hz）以外の電源には、接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷めたり色落ちさせる原因となります。

SDカード／USBメモリーについて

本機では、SDカード／USBメモリーを使って再生、ダビングが可能です。

TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) には、当社で動作確認済みのSDカード／USBメモリーのリストが掲載されています。

取り扱い上の注意

SDカード／USBメモリーは、精密にできています。SDカードおよびUSBメモリーの破損を防ぐため、取り扱いにあたって以下の点をご注意ください。

- 極端に温度の高いあるいは低い場所に放置しないこと。
- 極端に湿度の高い場所に放置しないこと。
- 濡らさないこと。
- 上に物を乗せたり、ねじ曲げたりしないこと。
- 衝撃を与えないこと。
- ダビング、再生状態やデータ転送などアクセス中に、抜き差しはしないこと。
- 持ち運ぶ際、端子むき出しのままにせず、カバーを被せて運ぶこと。

動作確認メディアについて

本機は、SDカード／USBメモリーを使って再生／ダビングを行います。

なお、古いSDカード／USBメモリーや一部のSDカード／USBメモリーのなかには、動作スピードの遅いメモリー部品を使っていたり、内部バッファ容量の小さいものがあります。こうしたSDカード／USBメモリーを使うと、本機の記録性能に影響を及ぼす可能性があります。

TASCAMのウェブサイトには、当社で動作確認済みのSDカード／USBメモリーのリストが掲載されていますのでご参照ください。または、タスカムカスタマーサポートまでお問い合わせください。 (<http://tascam.jp/>)

SDカード／USBメモリーのライトプロテクトについて

本機は、ダイレクトフォルダー機能 (31ページ) の設定保存のために、ダイレクトフォルダー設定をメディアに書込みます。ライトプロテクトをされたSDカード／USBメモリーにはダイレクトフォルダー設定の書込みができないため、メディアを抜いたり本機の電源を切るとダイレクトフォルダー機能の設定が消去されます。

Macに関する注意

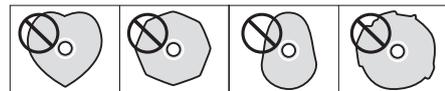
- Macで書き込んだSDカード／USBメモリーでは、フォルダー内の曲数やトラック番号が一致しないことがあります。これは、Macシステムファイルに依存する問題ですが、本機での再生に影響はありません。
- Macの操作で「ごみ箱」を空にしていない場合は、SDカード／USBメモリーの空き容量が不足し、ダビングなどが行えない場合があります。Macの操作で「ごみ箱」を空にしてからSDカード／USBメモリーを取り外してください。

CD (コンパクトディスク) について

本機は、市販の音楽CDのほか、オーディオCD (CD-DA) 形式で記録したCD-RやCD-RWディスク、MP3 / MP2オーディオファイルあるいはWAVオーディオファイルを記録したCD-RやCD-RWディスクを再生することができます。また、8cmCDの再生も可能です。

取り扱い上の注意

- ディスクは、必ずレーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手で挟むように持ってください。
- 信号記録面 (レーベルがない面) には、触れないでください。指紋や脂などが付着していると、再生するときにエラーの原因になることがあります。
- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布を使って中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。
- ディスクの清掃に、レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの化学薬品を使用することは絶対お止めください。表面が変質して再生不能になる恐れがあります。
- ディスクにラベルなどを貼ることはおやめください。盤面にゼロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因になります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や名刺形、八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因になりますので使用しないでください。



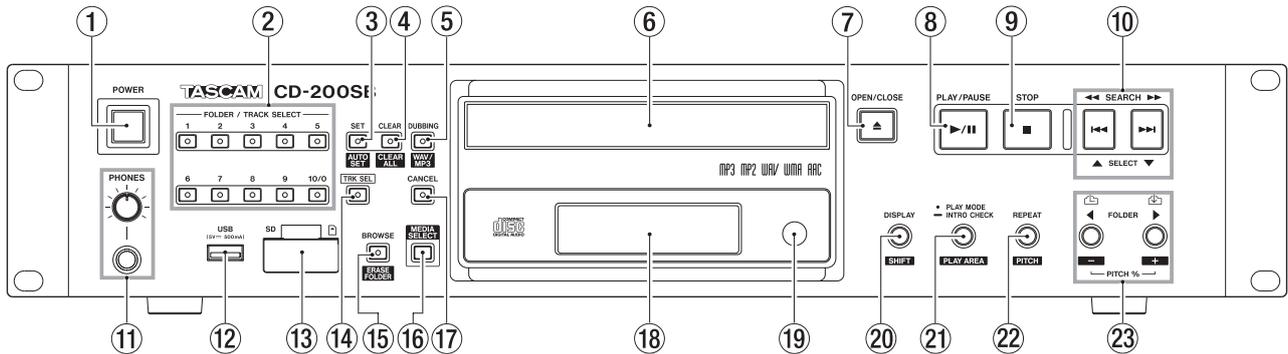
- いくつかのレコード会社より「コピーコントロールCD」と銘打った著作権保護を目的としたディスクが販売されています。これらはCD規格に準拠していないディスクも存在するため、本機で再生できない場合があります。

アフターサービス

- この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししていますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（裏表紙に記載）が修理いたします。ただし、保証期間内であっても使用1,000時間を超えた場合の故障および損傷は有償になります。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（記録内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
 - 型名、型番 (CD-200SB)
 - 製造番号 (Serial No.)
 - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

第2章 各部の名称と働き

フロントパネル



① POWERスイッチ

電源をオン/オフします。

注意

- 本機の電源のオン/オフは、本機に接続しているモニターシステムのボリュームを絞った状態で行ってください。
- 電源のオン/オフ時にヘッドホンを装着しないでください。ノイズによっては、スピーカーや聴覚を損傷する恐れがあります。

② FOLDER / TRACK SELECTボタン/インジケータ (1~10/0ボタン/インジケータ)

TRK SELインジケータが消灯中は、このボタンがダイレクトフォルダー機能のボタンとして機能します。

ダイレクトフォルダー機能でフォルダーが登録されているボタンは、インジケータが点灯します。(→ 31ページ「ダイレクトフォルダーを登録する」)

インジケータが点灯中のボタンを押すと、ダイレクトフォルダー機能によって登録されているフォルダーの再生を開始します。フォルダー再生中は、インジケータが点滅します。(→ 34ページ「ダイレクトフォルダーを再生する」)

TRK SELインジケータが点灯中は、このボタンがカレントメディアのトラック番号を指定する数字ボタン(1~10/0ボタン)として機能します。(→ 22ページ「トラック番号を指定する」)トラック番号は、オーディオCDの場合は最大2桁、データCD/SDカード/USBメモリーの場合は最大3桁です。

③ SET [AUTO SET] ボタン/インジケータ

SDカード/USBメモリー内のフォルダーを、ダイレクトフォルダー機能を使ってFOLDER / TRACK SELECTボタン(1~10/0ボタン)に登録する際に使用します。登録動作中は、このインジケータが点灯します。(→ 31ページ「ダイレクトフォルダーを登録する」)

DISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、フォルダー未登録のFOLDER / TRACK SELECTボタン(1~10/0ボタン)に対して、SDカード/USBメモリー内のフォルダーを自動的に割り当てます。ダイレクトフォルダー AUTO SETモード中は、このインジケータが点滅します。(→ 32ページ「ダイレクトフォルダーを一括登録する(AUTO SET)」)

④ CLEAR [CLEAR ALL] ボタン/インジケータ

ダイレクトフォルダー機能でFOLDER / TRACK SELECTボタン(1~10/0ボタン)に登録されているフォルダーを消去する際に使用します。消去動作中は、このインジケータが点灯

します。(→ 35ページ「ダイレクトフォルダーの登録を個別に消去する」)

DISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、FOLDER / TRACK SELECTボタン(1~10/0ボタン)に登録されているフォルダーを、全て消去します。消去中は、このインジケータが点滅します。(→ 36ページ「ダイレクトフォルダーの登録を一括消去する(CLEAR ALL)」)

⑤ DUBBING [WAV/MP3] ボタン/インジケータ

CDからSDカード/USBメモリーへのダビング(コピー)をする際に使用します。ダビング(コピー)機能動作中は、このインジケータが点灯します。(→ 37ページ「ダビング(コピー)機能」)

DISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、ダビング時の記録フォーマットについて現在の設定を2秒間表示します。その間に再度DISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、設定を切り換えます。(→ 38ページ「ダビングする」)

⑥ ディスクトレイ

OPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクのセット/取り出しを行います。

ディスクトレイを閉じるときは、OPEN/CLOSEボタンを押します。

⑦ OPEN/CLOSEボタン

ディスクトレイを開閉します。

⑧ PLAY/PAUSEボタン

停止中または一時停止中に押すと、再生を開始します。

再生中に押すと、一時停止状態になります。

ブラウズモード起動中は、選択トラックを確定し、再生を開始します。

⑨ STOPボタン

このボタンを押すと、再生を停止します。

SDカード/USBメモリーの場合は再生していたトラックの先頭で、CDの場合は最初のトラックの先頭で停止します。

プログラム編集中にこのボタンを押すと、登録した全てのプログラムがクリアされます。(→ 23ページ「プログラムを設定する」)

⑩ SEARCH << / >> [I<< / >>I, SELECT ▲ / ▼] ボタン

短く押すとトラック選択(スキップ)を行い、押し続けるとサーチを行います。

ブラウザモード起動中は、選択を変更します。(→ 29ページ「ブラウザ機能」)

⑪ PHONESジャック／つまみ

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャックです。ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。

PHONESつまみでヘッドホン出力レベルを調節します。

注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⑫ USB端子

USBメモリーを挿入／取り外します。(→ 19ページ「USBメモリー SDカードを挿入する／取り外す」)

USBメモリーへダビングしたり、USBメモリー内のファイルを再生します。

⑬ SDカードスロット

SDカードを挿入／取り出します。(→ 18ページ「SDカードを挿入する／取り出す」)

SDカードへダビングしたり、SDカード内のファイルを再生します。

⑭ TRK SELボタン／インジケーター

このボタンを押すと、TRK SELインジケーターが点灯します。このボタンのインジケーターが消灯中は、FOLDER / TRACK SELECTボタン(1~10/0ボタン)がダイレクトフォルダー機能のボタンとして機能します。(→ 34ページ「ダイレクトフォルダーを再生する」)

このボタンのインジケーターが点灯中は、FOLDER / TRACK SELECTボタン(1~10/0ボタン)がカレントメディアのトラック番号を指定する数字ボタン(1~10/0ボタン)として機能します。(→ 22ページ「トラック番号を指定する」)

⑮ BROWSE [ERASE FOLDER] ボタン／インジケーター

このボタンを押すと、カレントメディア内のフォルダー構造をたどるブラウザモードが起動します。

ブラウザモード起動中は、このインジケーターが点灯します。(→ 29ページ「ブラウザ機能」)

DISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、SDカード／USBメモリー内のフォルダーを削除するフォルダーイレースモードを起動します。フォルダーイレースモード起動中は、このインジケーターが点滅します。(→ 41ページ「フォルダーを削除する」)

⑯ MEDIA SELECTボタン

カレントメディアをCD / SDカード / USBメモリーから選択します。



[カレントメディア・切り換え順]

メモ

SDカード / USBメモリーについては、メディアが挿入されていない場合は選択できません。

⑰ CANCELボタン／インジケーター

このインジケーターが点灯または点滅しているとき、このボタンを押すことで各種操作を取り消しできます。

⑱ ディスプレー

各種情報を表示します。

⑲ リモコン受光部

付属のワイヤレスリモコン(TASCAM RC-CD200SB)の信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

⑳ DISPLAY [SHIFT] ボタン

ディスプレイに表示される時間情報や文字情報の内容を切り換えます。このボタンを押すと、現在ディスプレイに表示している情報の種類を2秒間表示します。その間に再度このボタンを押すと、表示内容の種類を切り換えます。表示できる情報は、カレントメディアの種類や動作状態によって変わります。(→ 26ページ「時間や文字情報の表示」)

他のボタンと同時に押すことにより、シフト機能(各ボタンの下に白抜き文字で表示)の操作をします。

㉑ PLAY MODE / INTRO CHECK [PLAY AREA] ボタン

このボタンを短く押すと、再生モードを切り換えます。再生モードには、連続、シングル、ランダム、プログラムの4種類があります。(→ 21ページ「再生モード」)

再生中あるいは停止中にこのボタンを長く押すと、イントロチェック再生を行います。カレントメディアに収録されているトラックの冒頭部分を10秒間、次々と再生します。イントロチェック再生中に、再度このボタンを長く押すとイントロチェック機能を解除し、前に設定された再生モードに戻り、現在のトラックを再生し続けます。(→ 28ページ「イントロチェック」)

DISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、データCD / SDカード / USBメモリー再生時の再生範囲を“ALL PLAY”もしくは“FOLDER”から選択できます。(→ 21ページ「再生範囲を設定する」)

㉒ REPEAT [PITCH] ボタン

リピート再生機能のオン／オフを切り換えます。(→ 26ページ「リピート再生」)

DISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと、CD再生に対するピッチコントロール機能のオン／オフを行います。(→ 27ページ「ピッチコントロール (CDのみ)」)

㉓ FOLDER ◀ / ▶ [PITCH - / +, ♪ / ♫] ボタン

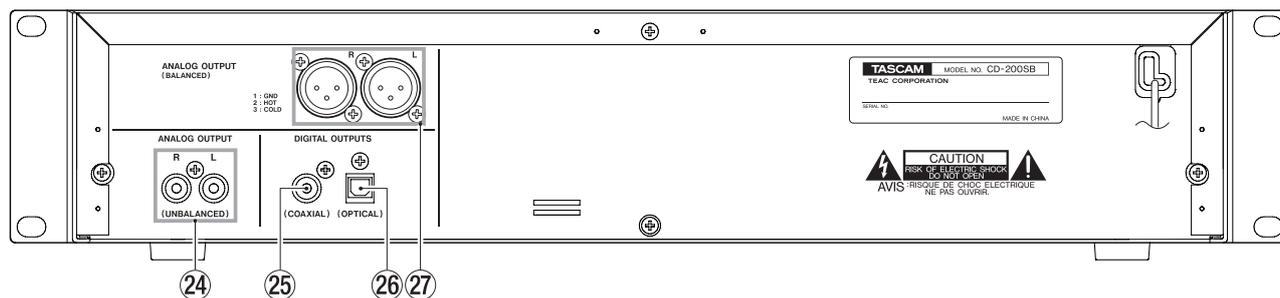
再生範囲が“FOLDER”のときにこれらのボタンを押すと、再生対象となるフォルダーが切り換わります。(→ 23ページ「再生するフォルダーを選択する」)

再生範囲が“ALL PLAY”のときに、これらのボタンを押すと、フォルダー単位でトラックスキップします。

DISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらこれらのボタンを押すと、ピッチコントロールの値を設定します。(→ 27ページ「ピッチコントロール (CDのみ)」)

ブラウザモード起動中は、FOLDER ◀ [PITCH -, ♪] ボタンを押すと1つ上の(親)フォルダーへ移動し、FOLDER ▶ [PITCH +, ♫] ボタンを押すと選択中のフォルダーへ移動します。(→ 29ページ「ブラウザ機能」)

リアパネル



②④ ANALOG OUTPUT (UNBALANCED) 端子

CD / SDカード / USBメモリーの再生音声信号を、アナログ出力します (−10dBV)。

②⑤ DIGITAL OUTPUTS (COAXIAL) 端子

CD / SDカード / USBメモリーの再生信号を、S/PDIFフォーマットでデジタル出力します。

②⑥ DIGITAL OUTPUTS (OPTICAL) 端子

CD / SDカード / USBメモリーの再生信号を、S/PDIFフォーマットでデジタル出力します。

メモ

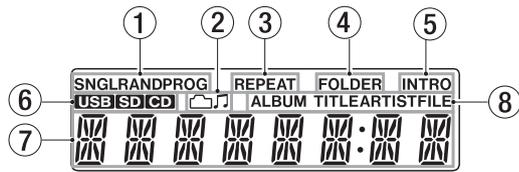
- 本機のデジタル出力のサンプリング周波数は、再生メディア / 再生ファイルのサンプリング周波数に関わらず44.1kHzとなります。
- オーディオCD、データCD再生時、ピッチコントロール機能がオンのときもデジタル出力しますが、ピッチコントロール値の分だけサンプリング周波数は変動します。ピッチコントロール機能がオンのとき、機器によっては本機のデジタル出力を受信できない場合があります。

②⑦ ANALOG OUT (BALANCED) 端子

CD / SDカード / USBメモリーの再生信号を、アナログバランス出力します。

最大出力レベルは、+20dBuです (1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)。

ディスプレイ



① 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

表示	再生モード
表示なし	連続再生モード
SNGL	シングル再生モード
RAND	ランダム再生モード
PROG	プログラム再生モード

② フォルダー／音楽ファイル表示

ブラウズモード起動中に、選択中のデータの種類を表示します。

表示	内容
📁	フォルダーを選択中
🎵	音楽ファイルを選択中

③ REPEAT表示

リピート再生機能がオンのとき“REPEAT”を表示します。

④ FOLDER表示

再生範囲が“FOLDER”のとき“FOLDER”を表示します。

⑤ INTRO表示

イントロチェック機能がオンのときに“INTRO”を表示します。

⑥ カレントメディア表示部

現在選択中のメディアの種類を表示します。

⑦ メイン表示部

トラック番号／時間表示または文字情報表示を行います。また、本機の状態（“OPEN”、“CLOSE”、“TOC* READ”など）やメッセージ（“NO DISC”など）の表示も行います。

8文字を超えるものはスクロール表示します。

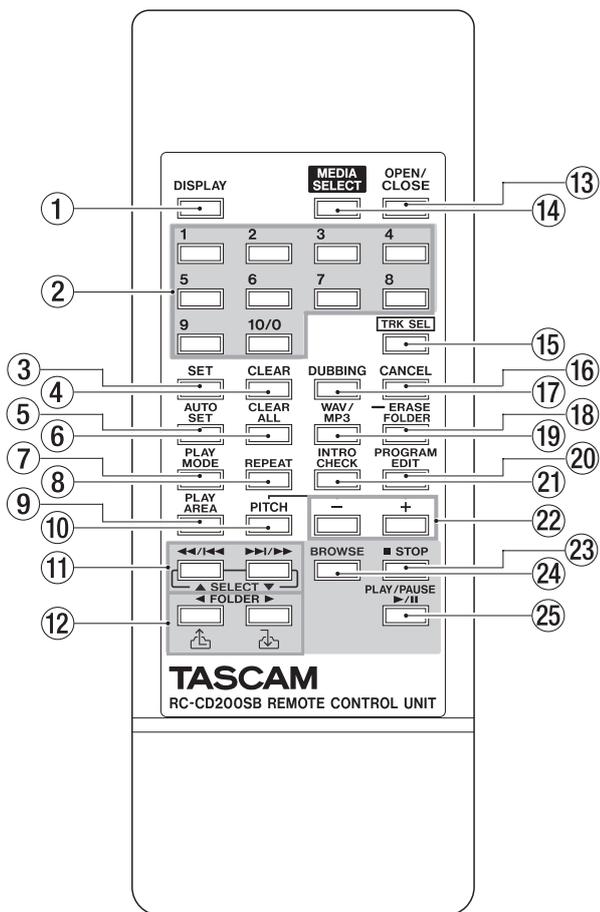
* TOC : Table Of Contents = ディスクに書かれている曲情報

⑧ 文字情報種別表示

メイン表示部に文字情報を表示しているとき、その種別を表示します。

表示	内容
ALBUM TITLE	CD-TEXTのアルバムタイトルまたはカレントフォルダー名
ALBUM ARTIST	CD-TEXTのアルバムアーティスト
TITLE	CD-TEXTのトラックタイトルまたはカレントファイルのTAG情報でのトラックタイトル
ARTIST	CD-TEXTのトラックアーティストまたはカレントファイルのTAG情報でのトラックアーティスト
FILE	カレントファイル名

ワイヤレスリモコン (TASCAM RC-CD200SB)



① DISPLAYボタン

ディスプレイに表示される時間情報や文字情報の内容を切り換えます。

このボタンを押すと、現在ディスプレイに表示している情報の種類を2秒間表示します。その間に再度このボタンを押すと、表示内容の種類を切り換えます。表示できる情報は、メディアの種類や動作状態によって変わります。(→ 26ページ「時間や文字情報の表示」)

② 数字ボタン (1~10/0ボタン)

本体のTRK SELインジケータが点灯中は、このボタンがダイレクトフォルダー機能のボタンとして機能します。(→ 31ページ「ダイレクトフォルダーを登録する」)

本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン (1~10/0ボタン) のインジケータが点灯中のボタンを押すと、ダイレクトフォルダー機能によって登録されているフォルダーの再生を開始します。フォルダー再生中は、インジケータが点滅します。(→ 34ページ「ダイレクトフォルダーを再生する」)

本体のTRK SELインジケータが点灯中は、このボタンがカレントメディアのトラック番号を指定する数字ボタン (1~10/0ボタン) として機能します。(→ 22ページ「トラック番号を指定する」)

トラック番号は、オーディオCDの場合は最大2桁、データCD / SDカード / USBメモリーの場合は最大3桁です。

③ SETボタン

SDカード / USBメモリー内のフォルダーを、ダイレクトフォルダー機能を使って数字ボタン (1~10/0ボタン) に登録する際に使用します。(→ 31ページ「ダイレクトフォルダーを登録する」)

④ CLEARボタン

ダイレクトフォルダー機能でFOLDER / TRACK SELECTボタン (1~10/0ボタン) に登録されているフォルダーを消去する際に使用します。(→ 35ページ「ダイレクトフォルダーの登録を個別に消去する」)

⑤ AUTO SETボタン

このボタンを押すと、フォルダー未登録のFOLDER / TRACK SELECTボタン (1~10/0ボタン) に対して、SDカード / USBメモリー内のフォルダーを自動的に割り当てます。(→ 32ページ「ダイレクトフォルダーを一括登録する (AUTO SET)」)

⑥ CLEAR ALLボタン

このボタンを押すと、本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン (1~10/0ボタン) に対して登録されているダイレクトフォルダーを、全て消去します。(→ 36ページ「ダイレクトフォルダーの登録を一括消去する (CLEAR ALL)」)

⑦ PLAY MODEボタン

再生モードを切り換えます。

再生モードには、連続再生モード、シングル再生モード、ランダム再生モード、プログラム再生モードの4種類があります。(→ 21ページ「再生モード」)

⑧ REPEATボタン

リピート再生機能のオン / オフを切り換えます。(→ 26ページ「リピート再生」)

⑨ PLAY AREAボタン

このボタンを押すと、データCD / SDカード / USBメモリー再生時の再生範囲を“ALL PLAY”もしくは“FOLDER”から選択できます。(→ 21ページ「再生範囲を設定する」)

⑩ PITCHボタン

CD再生に対するピッチコントロール機能のオン / オフを行います。(→ 27ページ「ピッチコントロール (CDのみ)」)

⑪ ◀◀ / ◀ / ▶ / ▶▶ [SELECT ▲ / ▼] ボタン

短く押すとトラック選択 (スキップ) を行い、押し続けるとサーチを行います。

ブラウズモード起動中は、選択を変更します。(→ 29ページ「ブラウズ機能」)

⑫ FOLDER ◀ / ▶ [⇄/⇄] ボタン

再生範囲が“FOLDER”のとき、これらのボタンを押すと再生対象となるフォルダーが切り換わります。(→ 23ページ「再生するフォルダーを選択する」)

再生範囲が“ALL PLAY”のとき、これらのボタンを押すと、フォルダー単位でトラックスキップします。

ブラウズモード起動中は、リモコンのFOLDER ◀ [⇄] ボタンを押すと1つ上の(親)フォルダーへ移動し、FOLDER ▶ [⇄] ボタンを押すと選択中のフォルダーへ移動します。(→ 29ページ「ブラウズ機能」)

⑬ OPEN/CLOSEボタン

ディスクトレイを開閉します。

⑭ MEDIA SELECTボタン

カレントメディアをCD / SDカード / USBメモリーから選択します。

→ CD → SD → USB]

[カレントメディア・切り換え順]

メモ

SDカード / USBメモリーについては、メディアが挿入されていない場合は選択できません。

⑮ TRK SELボタン

このボタンを押すと、本体のTRK SELインジケーターが点灯します。

本体のTRK SELインジケーターが消灯中、FOLDER / TRACK SELECTボタン(1~10/0ボタン)がダイレクトフォルダー機能のボタンとして機能します。(→ 34ページ「ダイレクトフォルダーを再生する」)

本体のTRK SELインジケーターが点灯中は、FOLDER / TRACK SELECTボタン(1~10/0ボタン)がカレントメディアのトラック番号を指定する数字ボタンとして機能します。(→ 22ページ「トラック番号を指定する」)

⑯ CANCELボタン

本体のCANCELインジケーターが点灯または点滅しているとき、このボタンを押すことで各種操作を取り消しできます。

⑰ DUBBINGボタン

CDからSDカード / USBメモリーへのダビングをする際に使用します。(→ 37ページ「ダビング(コピー)機能」)

⑱ ERASE FOLDERボタン

このボタンを押すと、SDカード / USBメモリー内のフォルダーを削除するフォルダーイレースモードを起動します。(→ 41ページ「フォルダーを削除する」)

⑲ WAV / MP3ボタン

このボタンを押すと、ダビング時の記録フォーマットを選択します。(→ 38ページ「ダビングする」)

⑳ PROGRAM EDITボタン

プログラムの設定、確認、編集を行うときに使います。(→ 23ページ「プログラム再生」)

㉑ INTRO CHECKボタン

イントロチェック再生を行います。カレントメディアに収録されているトラックの冒頭部分を10秒間、次々と再生します。

イントロチェック再生中に、再度このボタンを長く押すと通常再生モードに戻ります。(→ 28ページ「イントロチェック」)

㉒ - / +ボタン

CD再生に対するピッチコントロールの値を設定します。(→ 27ページ「ピッチコントロール(CDのみ)」)

㉓ STOPボタン

このボタンを押すと、再生を停止します。

SDカード / USBメモリーの場合は再生していたトラックの先頭で、CDの場合は最初のトラックの先頭で停止します。

プログラム設定モード起動中にこのボタンを押すと、登録した全てのプログラムがクリアされます。(→ 23ページ「プログラムを設定する」)

㉔ BROWSEボタン

このボタンを押すと、メディア内のフォルダー構造をたどるブラウズモードが起動します。(→ 29ページ「ブラウズ機能」)

㉕ PLAY/PAUSEボタン

停止中または一時停止中に押すと、再生を開始します。

再生中に押すと、一時停止状態になります。

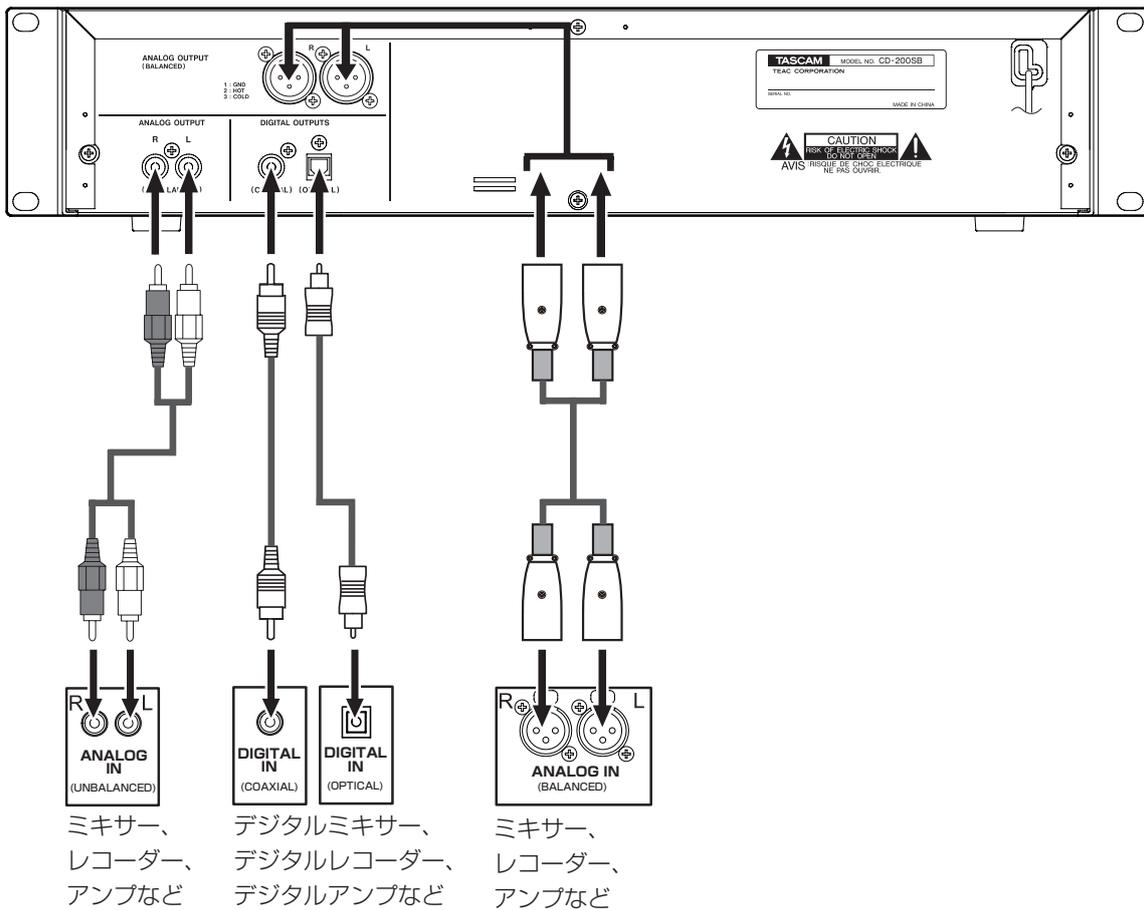
ブラウズモード起動中は、選択トラックを確定し、再生を開始します。

接続する

以下に、CD-200SBの接続例を示します。

接続前の注意

- 接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。
- 本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にします。
- 各機器の電源は、同一のラインから供給するように設置します。テーブルタップなどを使う場合は、電源電圧の変動が少なくなるように、電流容量が大きいケーブルをご使用ください。



アナログオーディオ機器との接続

本機のアナログ出力端子をステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどのアナログ入力端子に接続します。

メモ

- 本機には、ケーブルが付属されていません。
- ピンコードは、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因となります。

デジタルオーディオ機器との接続

本機のデジタル出力端子（COAXIALまたはOPTICAL）をステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどのデジタル入力端子に接続します。

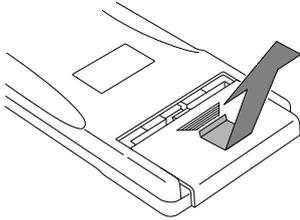
メモ

- 本機のデジタル出力のサンプリング周波数は、再生メディア／再生ファイルのサンプリング周波数に関わらず44.1kHzとなります。
- CD再生時、ピッチコントロール機能がオンのときもデジタル出力しますが、ピッチコントロール値の分だけサンプリング周波数は変動します。ピッチコントロール機能がオンのとき、機器によっては本機のデジタル出力を受信できない場合があります。

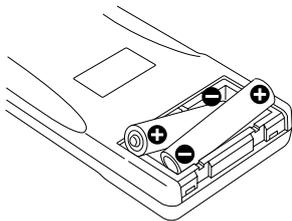
リモコンを準備する

乾電池の入れ方

- 裏側の蓋を開けます。



- ⊕、⊖の向きに注意して、単4形乾電池を2本挿入します。



- 蓋を閉めます。

乾電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2本同時に新しい乾電池に交換してください。

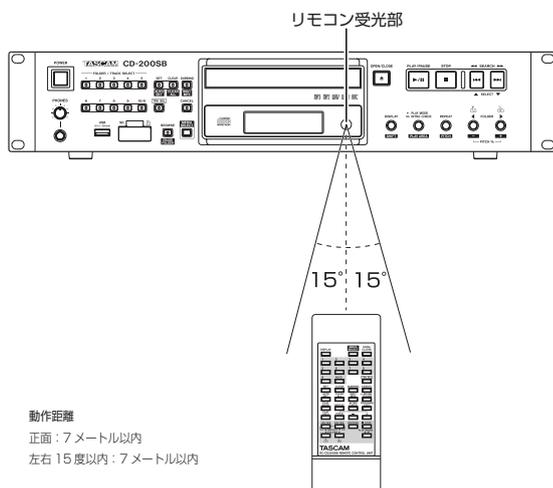
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

乾電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、液漏れや破裂などの原因となることがあります。乾電池の注意表示、および本書4ページをよくお読みください。

リモコン使用上の注意

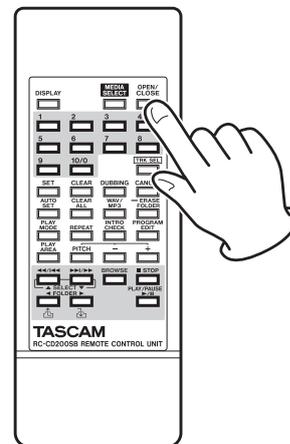
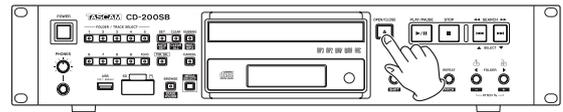
- 赤外線によりコントロールする他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンは、以下の範囲内でご使用ください。



CDをセットする

CDをセットするには、本体またはリモコンのOPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレイを開き、レーベル面を上にしてディスクをのせます。

再度OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。ディスクをセットすると本機がディスクの情報を読み取り、オーディオCDの場合は総トラック数と総再生時間、データCDの場合はカレントフォルダーもしくはメディア全体の総トラック数を、ディスプレイに表示します。



メモ

- カレントメディアがCDのとき、上記でOPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じる代わりにPLAY/PAUSEボタンを押すと、ディスクトレイを閉じて再生が始まります。
- 本機を使用中にディスクトレイを開くと、以下の設定が消去されます。
 - プログラム
 - カレントフォルダー（データCDの場合）

SDカードを挿入する／取り出す

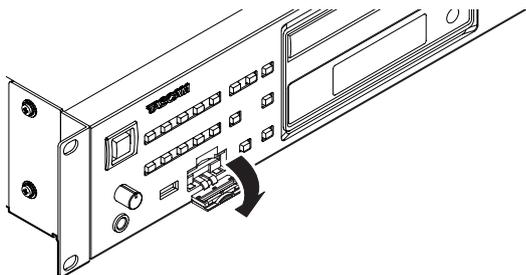
SDカードを挿入する

本機で再生／ダビングを行うには、フロントパネルのSDカードスロットにSDカードを挿入します。

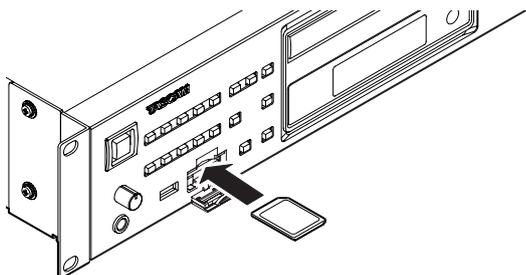
メモ

電源がオン／オフどちらのときもSDカードを挿入することができます。

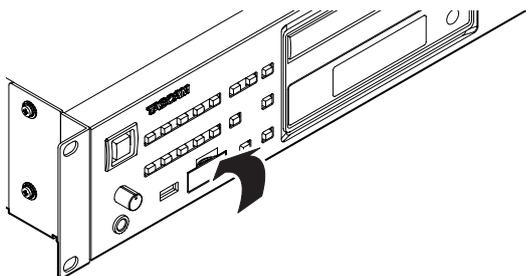
1. カードスロットのカバーを手前に引き開けます。



2. SDカードを正しい向きに挿入します。
ラベル面を上、端子部を奥にして挿入します。



3. カードスロットのカバーを閉じます。



メモ

SDカードスロットのカバーが閉まらないとき、SDカードを引き抜き、再度SDカードを入れてください。

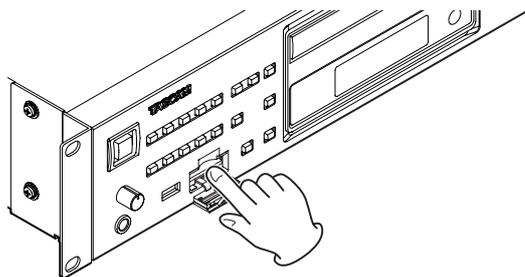
SDカードを取り出す

電源をオフにするか、動作を停止してから、SDカードを取り出します。

注意

本機が動作中（再生中、SDカードにデータを書き込み中など）は、絶対にSDカードを取り出さないでください。ダビングが正しく行われなかったり、データが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になるなどの可能性があります。

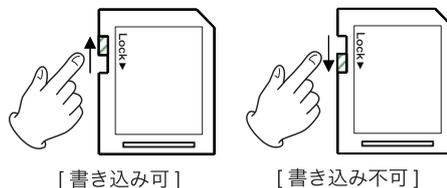
1. SDカードスロットのカバーを手前に引き開けます。
2. SDカードを軽く押し込むと、手前に出てきます。



3. 手でつまんでSDカードを引き出します。

SDカードのライトプロテクトスイッチについて

SDカードには、ライトプロテクト（書き込み防止）スイッチがあります。



ライトプロテクトスイッチを「LOCK」の方向へスライドするとダビングやフォルダーイレースができなくなります。ダビング（コピー）機能やフォルダーイレース機能を行う場合は、ライトプロテクトを解除してください。

また、本機では、ダイレクトフォルダー設定をSDカードに保存しています。SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」にしている場合は、ダイレクトフォルダー設定を記録できません。このため、カレントメディアの変更（MEDIA SELECTボタン操作）や電源を切った時にダイレクトフォルダー機能の設定は消去されます。（→ 31ページ「ダイレクトフォルダー設定について」）

USBメモリーを挿入する／取り外す

USBメモリーを挿入する

本機で再生／ダビングを行うには、フロントパネルのUSB端子にUSBメモリーを挿入します。

メモ

電源がオン／オフどちらのときもUSBメモリーを挿入することができます。

USBメモリーを取り外す

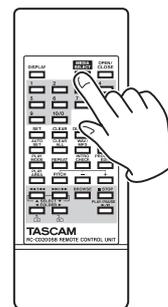
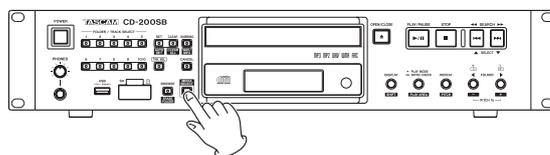
電源をオフにするか、動作を停止してから、USBメモリーを取り外します。

注意

本機が動作中（再生中、USBメモリーにデータを書き込み中など）は、絶対にUSBメモリーを取り出さないでください。ダビングが正しく行われなかったり、データが破損したり、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になるなどの可能性があります。

再生メディアを選択する

本機で再生するメディアを、本体またはリモコンのMEDIA SELECTボタンを押して選択します。



この操作でカレントメディアが以下の順で切り換わります。

→ CD → SD → USB]

[カレントメディア・切り換え順]

ディスプレイのカレントメディア表示部に、選択したカレントメディアのアイコン（“CD” / “SD” / “USB”）を表示します。

メモ

- “SD” / “USB” アイコンは、メディアをセットしていない場合には選択（表示）できません。
- カレントメディアをCDから他のメディアに切り換えたとき、CDが再生中または再生待機中であれば、CDを停止します。同様に、SDカードから他のメディアに切り換えたときや、USBメモリーから他のメディアに切り換えたとき、切り換える前のメディアが再生中または再生待機中であれば、停止します。
- カレントメディアを切り換えても、再生モードの設定、カレントフォルダー、プログラム内容は消去されません。

第4章 再生

CD、SDカード／USBメモリーに収録されているトラックや音楽ファイルの再生機能を説明します。

以下の説明では、トラックや音楽ファイルが記録されたCD、SDカード／USBメモリーが本機にセットされ、本機の電源がオンになっていて、カレントメディアが適切に選択されていることを前提としています。(→ 19ページ「再生メディアを選択する」)

再生可能なメディア／ファイル

本機は、以下のメディア／ファイルを再生することができます。

● CD-DA (オーディオCD) 形式のディスク

市販の音楽CDや、オーディオCD形式で作成したCD-R、CD-RWディスクを再生できます。本書では、これらのディスクを「オーディオCD」と呼びます。

● データCD形式のディスク

記録方式がISO9660 Level1およびLevel2、Jolietで、MP3、MP2ファイルやWAVファイルを収録したCD-ROM/R/RWディスクを再生できます。本書では、これらのディスクを「データCD」と呼びます。

メモ

本機は、ファイナライズされていないCD-R、CD-RWディスクは再生できません。

● SDカード、USBメモリー

本機でダビングしたファイル(WAV、MP3)はもちろん、本機以外での記録やパソコンや他のオーディオ機器などを利用して書き込みした音楽ファイルでも、下記の該当ファイル形式であれば再生可能です。

再生可能なファイル／ファイル拡張子

AAC	.3gp、.m4a、.mp4
MP2	.mp2
MP3	.mp3
WAV	.wav
WMA	.asf、.wma

メモ

- 再生可能なサンプリング周波数やビットレートに関しては巻末の「再生ファイル形式」を参照してください。
- 本機のデジタル出力のサンプリング周波数は、再生メディア／再生ファイルのサンプリング周波数に関わらず44.1kHzとなります。ピッチコントロール機能がオンのときもデジタル出力しますが、ピッチコントロール値の分だけサンプリング周波数は変動します。ピッチコントロール機能がオンのとき、機器によっては本機のデジタル出力を受信できない場合があります。
- 本機のディスプレイには、半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合は、再生が可能です。ディスプレイに表示する際「_」に置換します。
- MP3/MP2ファイルの認識は、ファイル拡張子「.mp3」または「.mp2」で行います。ファイル名には、必ず拡張子「.mp3」または「.mp2」を付けてください。拡張子「.mp3」または「.mp2」のないファイルは、本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.mp3」または「.mp2」がついていても、MP3ま

たはMP2データ形式でないファイルは再生できません。

- WAVファイルの認識は、ファイル拡張子「.wav」で行います。ファイル名には、必ず拡張子「.wav」を付けてください。拡張子「.wav」のないファイルは、本機では再生できません。また、ファイル名に拡張子「.wav」がついていても、WAVデータ形式でないファイルは再生できません。
- データCDで、1000以上のファイルまたは513以上のフォルダーが記録されたディスクは、正常に再生できないことがあります。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。

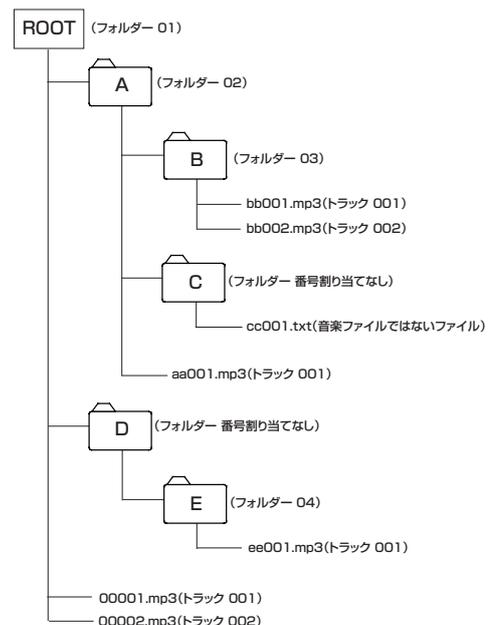
データCD / SDカード / USBメモリーのフォルダーとトラックについて

本機は、データCD / SDカード / USBメモリー上の音楽ファイルを「トラック」として扱います。データCDの中には、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、ファイルをフォルダーに収納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダーをまとめて1つのフォルダーに収めるといった、複数階層構造(最大階層:16)のものもあります。

本機のフォルダーサーチ機能では、音楽ファイルのあるフォルダー間をフォルダーサーチ操作で相互に行き来できます。移動の順序は、階層の浅いフォルダーから階層の深いフォルダー(サブフォルダー)に向かって行く方向です。

データCDのルートに音楽ファイルがある場合は、ルートも1つのフォルダーとして扱います。

すぐ下の階層に音楽ファイルが収納されていないフォルダーには、フォルダーサーチの対象となりません。たとえば、下図のような構成のディスクの場合は、フォルダーCとフォルダーDはフォルダーサーチの対象となりません。



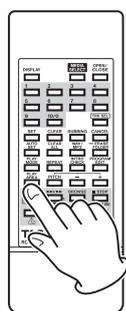
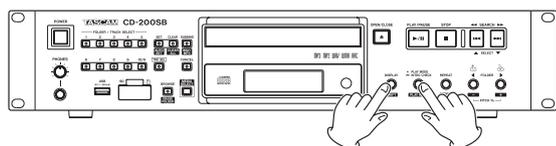
〈データCD / SDカード / USBメモリーの構成例〉

再生範囲

再生範囲を設定して再生することができます (PLAY AREA設定)。再生範囲の設定を行うには、以下の操作を行います。

再生範囲を設定する

本体のDISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらPLAY MODE / INTRO CHECK [PLAY AREA] ボタンを押す、またはリモコンのPLAY AREAボタンを押して、再生範囲を設定します。



ディスプレイのメイン表示部にも選択した再生範囲が次のように表示され、約2秒後に消えます。また、選択した再生範囲によって、ディスプレイの“FOLDER”を表示/非表示します。

メイン表示部表示	FOLDER表示	内容
ALL PLAY	表示なし	カレントメディア内の全ファイルを再生します。
FOLDER	表示	カレントメディア内の選択したフォルダー内の全ファイルを再生します。

再生モード

本機には、以下の4種類の再生モードで、トラックを再生することができます。

連続再生モード (初期設定)

カレントメディアのトラック番号順に再生します。

メモ

データCD / SDカード / USBメモリーで再生範囲が“FOLDER”のとき、再生中のフォルダー内のトラックを番号順に再生します。

シングル再生モード

カレントメディア上の選択したトラックを再生し、再生が終わると停止します。

ランダム再生モード

カレントメディア上のトラックを、トラック番号に関係なくランダムに再生します。全トラックの再生を終えると停止します。

メモ

- データCD / SDカード / USBメモリーで、再生範囲が“FOLDER”のとき、カレントフォルダー内のトラックをランダムに再生します。(→ 23ページ「フォルダー再生 (データCD / SDカード / USBメモリー)」)
- SDカード / USBメモリーでランダム再生できるトラックは、最大で65535トラックです。再生範囲が“ALL PLAY”のとき、再生範囲内に65536トラック以上のトラックがある場合は、65536トラック目以降のトラックは再生されません。

プログラム再生モード

プログラムした順序でトラックを再生します。詳しくは、「プログラム再生」(23ページ)をご覧ください。

再生モードを選択する

本体のPLAY MODE / INTRO CHECK [PLAY AREA] ボタンまたはリモコンのPLAY MODEボタンを押すたびに、再生モードが切り換わります。ただし、再生中に押すと連続再生モード、シングル再生モードとランダム再生モードの間で切り換わります。プログラム再生を選択するには、停止中またはカレントメディアをセットしていないときに本体のPLAY MODE / INTRO CHECK [PLAY AREA] ボタンまたはリモコンのPLAY MODEボタンを押してください。

現在選ばれている再生モードは、次のようにディスプレイに表示されます。

表示	再生モード
表示なし	連続再生モード
SNGL	シングル再生モード
RAND	ランダム再生モード
PROG	プログラム再生モード

選択した再生モードは、電源を切っても保持されます。

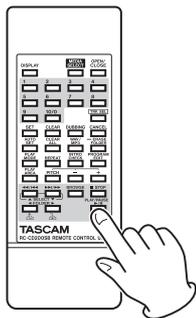
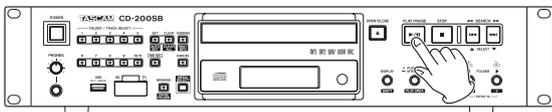
メモ

本体のPLAY MODE / INTRO CHECK [PLAY AREA] ボタンまたはリモコンのPLAY MODEボタンを押した直後、ディスプレイのメイン表示部にも選択した再生モードが次のように表示されます。

連続再生モード選択時	: CONTINUE
シングル再生モード選択時	: SINGLE
ランダム再生モード選択時	: RANDOM
プログラム再生モード選択時	: PROGRAM

再生する

以下の説明では、必要な接続を終え、本機の電源がオンになっている、メディアをセットしていることを前提としています。
再生を始めるには、本体またはリモコンの**PLAY/PAUSE**ボタンを押します。



- **再生を停止するには**
本体またはリモコンの**STOP**ボタンを押します。
- **再生を一時停止するには**
本体またはリモコンの**PLAY/PAUSE**ボタンを押します。

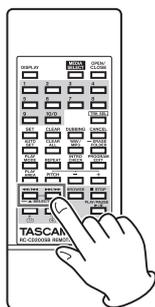
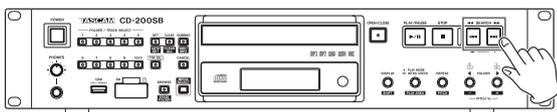
なお、この取扱説明書では、特に断らない限り、再生モードが連続再生モードに設定されているものとして説明しています。(→ 21 ページ「再生モード」)

トラックを選ぶ

トラックを選ぶ方法には、前後のトラックに移動する方法（スキップ）と、トラック番号を直接指定する方法があります。

前後のトラックにスキップする

本体の**SEARCH** ◀◀ / ▶▶ [◀◀ / ▶▶]、**SELECT** ▲ / ▼ ボタンまたはリモコンのサーチボタン (◀◀ / ▶▶ [SELECT ▲] ボタンまたは▶▶ / ▶▶ [SELECT ▼] ボタン) を押します。
トラックを選択した後、本体またはリモコンの**PLAY/PAUSE**ボタンを押すと、トラックの再生が始まります。



メモ

再生中に本体の**SEARCH** ◀◀ / ▶▶ [◀◀ / ▶▶]、**SELECT** ▲ / ▼ ボタンまたはリモコンのサーチボタン (◀◀ / ▶▶ [SELECT ▲] ボタンまたは▶▶ / ▶▶ [SELECT ▼] ボタン) を押した場合は、トラックスキップ後に再生を継続します。

トラック番号を指定する

本体またはリモコンの**TRK SEL**ボタンを押し (TRK SELインジケータ点灯)、本体またはリモコンの数字ボタン (1 ~ 10/0ボタン) を使用して、再生するトラック番号を直接指定することができます。

トラック番号は、オーディオCDの場合は最大2桁、データCD / SDカード / USBメモリーの場合は最大3桁です。

1. 本体またはリモコンの**TRK SEL**ボタンを押して、本体の**TRK SEL**インジケータを点灯させます。
2. 本体の**FOLDER/TRACK SELECT**ボタン (1 ~ 10/0ボタン)、またはリモコンの数字ボタン (1 ~ 10/0ボタン) を使って、トラック番号を入力します。トラック番号は、大きい桁の数字から順に入力します。
 - **トラック1を指定する場合：**
1ボタンを1回押す。
 - **トラック12を指定する場合：**
1ボタン → 2ボタンの順に押す。
3. 本体またはリモコンの**PLAY/PAUSE**ボタンを押します。
選択したトラックの再生が始まります。
本体またはリモコンの**STOP**ボタンを押すと、トラック番号入力表示が消えて、もとの表示に戻ります。

メモ

- 再生中のトラック番号表示は、最大999までです。トラック番号が1000以上は“---”と表示されます。
- 再生範囲が“ALL PLAY”のとき、本体またはリモコンの**FOLDER** ◀ / ▶ ボタンを使ってフォルダー単位でトラックスキップします。
- プログラム、ランダムモード時は、数字ボタン (1 ~ 10/0ボタン) を使ったトラック指定ができません。
- 本体の**FOLDER/TRACK SELECT** (1 ~ 10/0ボタン) またはリモコンの数字ボタン (1 ~ 10/0ボタン) をダイレクトフォルダー選択として使用するには、本体またはリモコンの**TRK SEL**ボタンを押して、本体の**TRK SEL**ボタンを消灯させてください。

早送り／早戻しサーチ

音声を聴きながらトラック内を早送り／早戻しサーチすることができます。

1. 希望のトラックを再生または一時停止にします。
2. 本体のSEARCH ◀◀ / ▶▶ [◀◀ / ▶▶、SELECT ▲ / ▼] ボタンまたはリモコンのサーチボタン (◀◀ / ▶▶ [SELECT ▲] ボタンまたは▶▶ / ▶▶ [SELECT ▼] ボタン) を押し続けます。
早送り／早戻しサーチが始まります。
3. サーチを止めるには、押し続けているボタンを放します。
サーチを始める前の状態 (再生または一時停止) に戻ります。

メモ

オーディオCD以外でも早送り／早戻しサーチは可能です。

フォルダー再生 (データCD / SDカード / USBメモリー)

データCD / SDカード / USBメモリーの場合は、指定したフォルダー (=カレントフォルダー) を再生範囲にすることができます。以下に説明する方法で再生するフォルダーを指定することができます。ただし、再生範囲を“ALL PLAY”に指定することにより、メディア全体を再生範囲にすることができます。

再生するフォルダーを選択する

1. 本体のDISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらPLAY MODE / INTRO CHECK [PLAY AREA] ボタンを押す、またはリモコンのPLAY AREAボタンを押して、再生範囲を“FOLDER”に設定します。
2. 本体のFOLDER ◀ / ▶ [PITCH - / +、⏪ / ⏩] ボタン、またはリモコンのFOLDER ◀ / ▶ [⏪ / ⏩] ボタンを押すことによって、前後のフォルダーに移動することができます。それぞれ、手前または次のフォルダーの先頭トラックの冒頭に移動します。なお、本体のFOLDER ◀ / ▶ [PITCH - / +、⏪ / ⏩] ボタン、またはリモコンのFOLDER ◀ / ▶ [⏪ / ⏩] ボタンを押したままにすると、順にフォルダーを移動します。

メモ

- フォルダーの移動に従ってカレントフォルダーが切り換わりません。
- フォルダー再生中にリピート再生を行うと、カレントフォルダー内のトラックをリピート再生します。
- フォルダー再生中にランダム再生を行うと、カレントフォルダー内のトラックをランダム再生します。

プログラム再生

プログラム再生を行うには、再生モードをプログラム再生モードにしてからプログラムを設定するか、あるいはあらかじめプログラムを設定してからプログラム再生モードにします。(→ 21ページ「再生モードを選択する」)

プログラム再生モード中、本体またはリモコンのPLAY/PAUSE ボタンを押すと、設定しているプログラムの1トラック目 (プログラムステップ1) から順に再生を行います。

本体のSEARCH ◀◀ / ▶▶ [◀◀ / ▶▶、SELECT ▲ / ▼] ボタンまたはリモコンのサーチボタン (◀◀ / ▶▶ [SELECT ▲] ボタンまたは▶▶ / ▶▶ [SELECT ▼] ボタン) を押すと、手前／次のプログラムステップにスキップします。

プログラム再生モードでは、オーディオCDの場合は、停止中にプログラム数と総プログラム時間が表示されます。

データCDの場合は、プログラム数のみ表示されます。

SDカード / USBメモリーの場合は、再生していたトラックの番号と時間を表示します。

メモ

- プログラム再生を選択するには、停止中に本体のPLAY MODE / INTRO CHECK [PLAY AREA] ボタンまたはリモコンのPLAY MODEボタンを押してください。
- データCD / SDカード / USBメモリーの場合、再生範囲が“ALL PLAY”を選択している時はプログラムを設定することができません。再生範囲を“FOLDER”に選択するとカレントフォルダー内のトラックがプログラムの設定対象となります。

プログラムを設定する

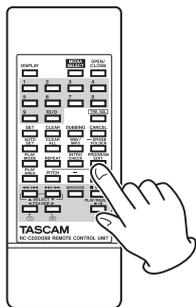
プログラムが設定されていない場合は、以下の手順でリモコンを使ってプログラムを設定することができます。

プログラムの設定は、メディア (CD / SDカード / USBメモリー) ごとにそれぞれ独立して設定できます。

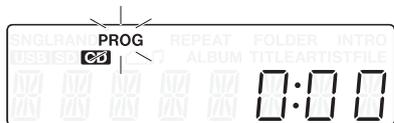
メモ

- 本体からのプログラムの設定はできません。
- 現在の再生モードに関わらず、いつでもプログラムを設定することができます。
- データCD / SDカード / USBメモリーでプログラムできるトラック番号は、最大で999までです。
- CDのプログラムは、ディスクトレイを開く、またはカレントフォルダーを変更するとプログラムが消去されます。
- SDカード / USBメモリーでは、メディアを抜くとプログラムが消去されます。また、ダビング (コピー) 機能やフォルダーイレース機能、カレントフォルダーの変更、プログラム再生モード (“PROG” 表示) 時にダイレクトフォルダー再生を行うとプログラムが消去されます。

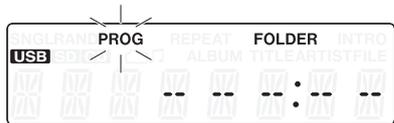
1. 停止中にリモコンのPROGRAM EDITボタンを押します。



プログラム設定モードを起動し、プログラムが未設定の場合は、プログラムステップ1にトラックを登録できる状態になります（“PROG” 点滅表示）。



[オーディオCDの場合のディスプレイ表示例]



[USBメモリーの場合のディスプレイ表示例]

メモ

プログラムがすでに設定されている場合は、プログラムステップ1に登録されているトラック番号が表示されます。

2. リモコンの数字ボタン（1～10/0ボタン）またはサーチボタン（◀◀ / ◀◀ [SELECT ▲] ボタンまたは▶▶ / ▶▶ [SELECT ▼] ボタン）を使って、プログラムステップ1に登録するトラックを選びます（“PROG” とトラック番号が点滅表示）。数字ボタン（1～10/0ボタン）を使った場合は、大きい桁から順に入力されます。



トラック番号 再生時間

[オーディオCDの場合のディスプレイ表示例]



[USBメモリーの場合のディスプレイ表示例]

メモ

- データCD / SDカード / USBメモリーの場合は、リモコンの数字ボタン（1～10/0ボタン）またはサーチボタン（◀◀ / ◀◀ [SELECT ▲] ボタンまたは▶▶ / ▶▶ [SELECT ▼] ボタン）を押してから1秒以上経過すると、ディスプレイがファイル名表示に切り換わりますが、プログラムの設定は可能です。
 - トラックを選択した状態でSTOPボタンを押すと、トラック選択が中止され、再びトラックを選択できる状態に戻ります。
3. リモコンのPROGRAM EDITボタンを押します。
選んだトラックがプログラムステップ1に登録され、次のプログラムステップに登録できる状態になります。



4. 上記の手順2と3を繰り返して、希望のトラックを順次、登録して行きます。
5. プログラムの設定を終えたら、次のプログラムステップにトラックを登録できる状態のときに再度リモコンのPROGRAM EDITボタンを押します。
プログラム設定モードを終了します。

メモ

- 同じトラックを繰り返し登録することも可能です。
- 次のプログラムステップにトラックを登録できる状態のときにSTOPボタンを押すと、プログラムが全て消去されます。
- 100トラック以上を登録しようとする、エラーメッセージ“PGM FULL”が表示されます。登録できるのは、99トラックまでです。

プログラムを確認する

プログラムの内容を確認することができます。

1. 停止中にリモコンのPROGRAM EDITボタンを押して、プログラム設定モードを起動します。
ディスプレイにプログラムステップ1に登録されているトラック番号と再生時間が表示され（データCD / SDカード / USBメモリーの場合は再生時間が表示されません）、“PROG” が点滅表示します。



トラック番号 再生時間

2. PROGRAM EDITボタンを押すたびに、次のプログラムステップの登録トラック情報が表示されます。



3. 最後のプログラムステップを表示中に**PROGRAM EDIT**ボタンを押すと、トラックを登録できる状態（トラック番号表示がなく、“**PROG**” が点滅表示）になります。



4. 再度**PROGRAM EDIT**ボタンを押すと、プログラム設定モードを終了します。

プログラムトラックを差し替える

すでに登録されているトラックを差し替えることができます。

1. 停止中にリモコンの**PROGRAM EDIT**ボタンを押して、本機をプログラム設定モードにします。
2. 上記「プログラムを確認する」に従い、**PROGRAM EDIT**ボタンを押して、トラックを差し替えたいプログラムステップを表示します。
3. リモコンの数字ボタン（1～10/0ボタン）またはスキップボタン（◀◀ / ◀◀ [SELECT ▲] ボタンまたは▶▶ / ▶▶ [SELECT ▼] ボタン）を使って希望のトラックを選択し、**PROGRAM EDIT**ボタンを押します。
差し換えが完了し、新たなプログラムステップにトラックを登録できる状態になります。
4. 再度**PROGRAM EDIT**ボタンを押して、プログラム設定モードを終了します。

プログラムトラックを追加する

設定されているプログラムの最後に、トラックを追加することができます。

1. 停止中にリモコンの**PROGRAM EDIT**ボタンを押して、プログラム設定モードを起動します。
2. **PROGRAM EDIT**ボタンを押し続けて、新たなプログラムステップにトラックを登録できる状態（トラック番号表示がなく、“**PROG**” が点滅表示）にします。
3. リモコンの数字ボタン（1～10/0ボタン）またはスキップボタン（◀◀ / ◀◀ [SELECT ▲] ボタンまたは▶▶ / ▶▶ [SELECT ▼] ボタン）を使って追加するトラックを選択し、**PROGRAM EDIT**ボタンを押します。
4. この状態で手順3.と同じ操作を行うと、さらにトラックを追加することができます。あるいは**PROGRAM EDIT**ボタンを押すと、プログラム設定モードを終了します。

メモ

- プログラムの最後にトラックを追加したり、プログラムトラックを差し替えることはできますが、プログラムの途中でトラックを挿入することはできません。
- プログラムの途中でトラックを挿入したい場合は、プログラムトラックの差し替えと追加を使って、プログラムの内容を修正してください。

プログラムを消去する

設定されているプログラム全体を消去することができます。

1. 停止中にリモコンの**PROGRAM EDIT**ボタンを押して、プログラム設定モードを起動します。
2. **PROGRAM EDIT**ボタンを押し続けて、新たなプログラムステップにトラックを登録できる状態（トラック番号表示がなく、“**PROG**” が点滅表示）にします。
3. リモコンの**STOP**ボタンを押します。
ディスプレイに“**-CLEAR-**”を表示してプログラムが消去された後、プログラム未登録時のプログラム設定モードになります。



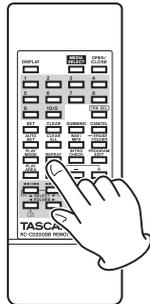
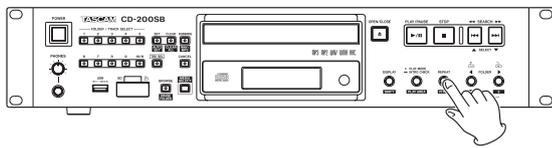
上記の他に、ディスクトレイを開いたり、またはメディアを抜いた場合もプログラムが消去されます。

メモ

- CDのプログラムは、ディスクトレイを開く、またはカレントフォルダーを変更するとプログラムが消去されます。
- SDカード / USBメモリーでは、メディアを抜くとプログラムが消去されます。また、ダビング（コピー）機能やフォルダーイレース機能、カレントフォルダーの変更、プログラム再生モード（“**PROG**” 表示）時にダイレクトフォルダー再生を行うとプログラムが消去されます。

リピート再生

再生範囲の全トラックを、繰り返し再生することができます。本体の**REPEAT [PITCH]** ボタンまたはリモコンの**REPEAT** ボタンを押して、リピート再生機能のオン/オフを選択することができます。



リピートオン（ディスプレイに“REPEAT”を表示）

全トラックを繰り返し再生します。



リピートオフ（表示なし）

リピート再生しません。



メモ

- データCD / SDカード / USBメモリーのフォルダー再生時は、フォルダー内の全トラック。プログラム再生時は、プログラム内の全トラックが対象となります。
- 再生中にリピート再生機能をオンにした場合は、そのまま再生を続け、最後まで再生すると先頭に戻って再生を続けます。停止中にオンにした場合は、**PLAY/PAUSE** ボタンを押すとリピート再生が始まります。
- リピート再生機能のオン/オフ設定は、電源を切っても保持されます。

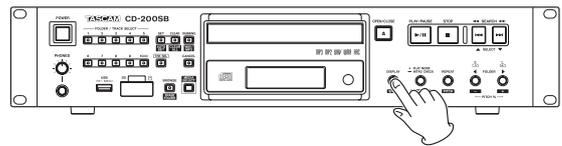
時間や文字情報の表示

ディスプレイに表示される時間表示や文字情報の内容を選択することができます。

本体の**DISPLAY [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**DISPLAY** ボタンを押すと、ディスプレイのメイン表示部に現在選択されている情報（再生時間や文字情報）の種類が2秒間表示されます。

その間に再び本体の**DISPLAY [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**DISPLAY** ボタンを押すと、表示情報の種類が切り換わります。

なお、カレントメディアやセットしているメディアの種類や状態、および本機の動作状態によって、切り換わる表示情報の種類が異なります。



CDテキストを含むオーディオCD

再生中／一時停止中は、「トラック経過時間→トラック残時間→総残時間→トラックタイトル→トラックアーティスト→」の間で表示する情報を切り換えることができます。

停止中も切り換えできますが、アルバムタイトル/アルバムアーティスト以外は総トラック数と総時間を表示します。

CDテキストを含まないオーディオCD

再生中／一時停止中は、「トラック経過時間→トラック残時間→総残時間→」の間で表示する情報を切り換えることができます。

停止中も切り換えできますが、総トラック数と総再生時間を表示します。

データCD

再生中／一時停止中は、「トラック経過時間→トラックタイトル→トラックアーティスト→ファイルネーム→」の間で表示する情報を切り換えることができます。

停止中は、「トラック経過時間→アルバムタイトル→」のみ切り換えできます。

停止中、タイトルに切り換えた場合はアルバムタイトル（カレントフォルダー）を表示し、それ以外は総トラック数を表示します。

SDカード / USBメモリー

再生中／一時停止中、および停止中は、「トラック経過時間→トラック残時間→タイトル→アーティスト→ファイル→」の間で表示する情報を切り換えることができます。

メモ

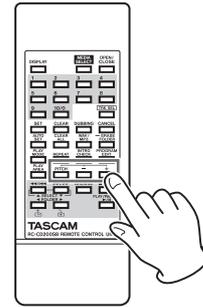
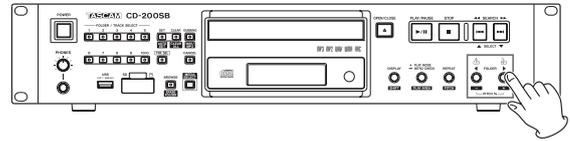
- 本体のDISPLAY [SHIFT] ボタンまたはリモコンのDISPLAY ボタンを押してから2秒間、ディスプレイのメイン表示部に、現在選択中の表示情報の種類が以下のように表示されます。

トラック経過時間	: “ELAPSED”
トラック残時間	: “REMAIN”
総残時間	: “T REMAIN”
アルバム／トラックタイトル	: “TITLE”
アルバム／トラックアーティスト	: “ARTIST”
ファイルネーム	: “FILENAME”
- ディスプレーに表示される文字情報は、オーディオCDの場合はCDテキスト情報、データCDの場合はID3タグ情報、SDカード／USBメモリーではID3、WMA、AACタグ情報です。これらの情報がディスクやファイルに記録されていない場合は、“NO TITLE”（タイトル情報のとき）か “NO NAME”（アーティスト情報のとき）と表示します。情報に表示できない文字が含まれている場合は、該当文字を “_” に置換して表示します。
- オーディオCDでのプログラム再生モード中は、プログラム全体の経過時間や残時間を表示します。
- 表示内容の設定は、電源を切っても保持されます。
- Macで書き込んだSDカード／USBメモリーでは、フォルダー内の曲数やトラック番号が一致しないことがあります。これは、Macシステムファイルに依存する問題ですが、本機での再生に影響はありません。

ピッチコントロール（CDのみ）

CDのピッチ（音の高さと再生の速さ）を変えて再生することができます（ピッチコントロール再生）。

ピッチコントロール再生を行うには、以下の操作を行います。



1. 本体のDISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながら、REPEAT [PITCH] ボタンを押すか、リモコンのPITCHボタンを押して、ピッチコントロール再生をオンにします。このとき、現在のピッチコントロール値を表示します。



2. 本体のDISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながら、本体のFOLDER ◀ / ▶ [PITCH - / +, 1/2 / 1/4] ボタンを使うか、リモコンの- / +ボタンを使ってピッチを設定します。
- 14% ~ +14% (0.5%単位) の範囲で設定することができます。

- ピッチコントロール再生をオフにするには：
本体のDISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながら、REPEAT [PITCH] ボタンを押すか、リモコンのPITCHボタンを押します。



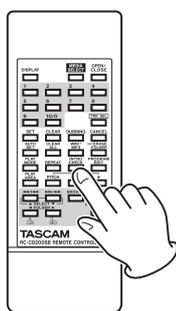
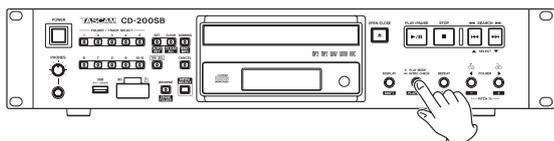
メモ

- 再生中にピッチコントロール再生のオン／オフを切り換えると、再生音が一瞬途切れることがあります。
- データCD（MP3、MP2、WAV）をピッチコントロール再生すると、再生音が途切れる場合があります。
- ピッチコントロール機能がオンのときもデジタル出力しますが、ピッチコントロール値の分だけサンプリング周波数は変動します。ピッチコントロール機能がオンのとき、機器によっては本機のデジタル出力を受信できない場合があります。
- ピッチコントロール機能は、SDカード／USBメモリーには使用できません。

イントロチェック

停止中あるいは再生中に本体のPLAY MODE / INTRO CHECK [PLAY AREA] ボタンを長く押し、またはリモコンのINTRO CHECKボタンを押すと、“INTRO”を表示して収録されている個々のトラックの冒頭の部分（10秒間）だけを次々と再生します。

イントロチェック中にもう1度本体のPLAY MODE / INTRO CHECK [PLAY AREA] ボタンを長く押し、またはリモコンのINTRO CHECKボタンを押すと、“INTRO”の表示を消して通常の再生モードに戻ります。



- イントロチェック中に本体のSEARCH ◀◀ / ▶▶ [◀◀ / ▶▶、SELECT ▲ / ▼] ボタンまたはリモコンのサーチボタン (◀◀ / ▶▶ [SELECT ▲] ボタンまたは▶▶ / ▶▶ [SELECT ▼] ボタン) を短く押し、前後のトラックへスキップします。
- イントロチェックを停止するには、STOPボタンを押します。
- プログラムモードやフォルダー再生モードでもイントロチェックは可能です。

本機は、SDカード／USBメモリー内のフォルダーおよびファイル構成を、パソコンなどを使わずに本機の操作のみで確認することができます（ブラウズ機能）。

ディスプレイには、選択中のフォルダーもしくはファイルの名前を、テキスト文字と専用アイコンで表示します。

メディア内のフォルダーは全て検索できますが、本機で再生できるファイルは下記の音楽ファイルフォーマットのみです。

本機で再生可能な音楽ファイルフォーマット

MP3 / MP2 / WAV / WMA / AAC

（WMA / AACの再生はSDカード／USBメモリーのみ可能）

また、ブラウズ機能でディスプレイに表示される情報は、以下の通りです。

テキスト文字

選択しているフォルダーまたはファイルの名前を表示します。

フォルダー（“□”）

フォルダーが選択された状態（フォルダー名がテキスト文字表示されている状態）では、このアイコンがテキスト文字の上側に表示されます。



音楽ファイル（“♪”）

音楽ファイルが選択された状態（音楽ファイル名がテキスト文字表示されている状態）では、このアイコンがテキスト文字の上側に表示されます。



メモ

フォルダーアイコン（“□”）と音楽ファイルアイコン（“♪”）は、同時には表示されません。

ブラウズ機能の適用

メディア（SDカード／USBメモリー）が挿入されており、かつ適切にそのメディアがカレントメディアとして選択されているとき、そのカレントメディアに対してブラウズできます。

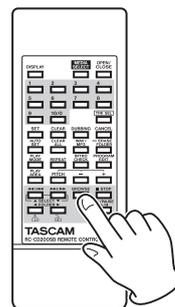
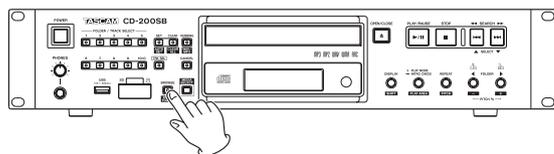
ブラウズ機能で表示される内容

- 音楽ファイル（拡張子で判断）
音楽ファイル以外のファイルは、表示されません。
- フォルダー

フォルダー、ファイルを確認する

下記の操作で、フォルダー階層を移動／選択して、ファイルを確認できます。

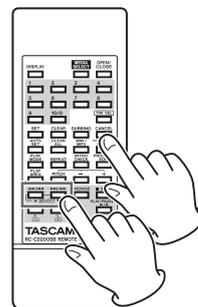
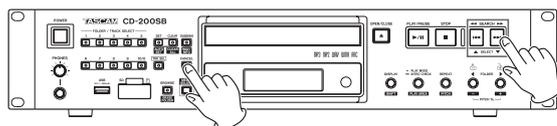
1. 本体の**BROWSE [ERASE FOLDER]** ボタン、またはリモコンの**BROWSE**ボタンを押して、ブラウズモードを起動します。このとき、本体の**BROWSE [ERASE FOLDER]** インジケーターと**CANCEL**インジケーターが点灯します。



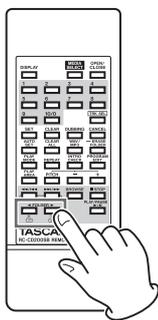
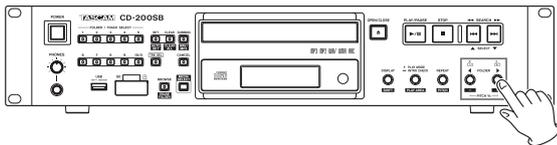
2. ディスプレーメイン表示部には、一番上（ルート）の階層のフォルダーやファイルの名前が表示されます。

同じ階層に他のフォルダーやファイルがある場合は、本体の**SEARCH ►► [►►、SELECT ▼]** ボタン、またはリモコンのサーチボタン（►► / ►► [SELECT ▼] ボタン）を使って、選択を変更します。

本体またはリモコンの**CANCEL**ボタンを押すと、ブラウズモードを解除できます。



3. 1つ下の階層に移動する場合は、フォルダーを選択している状態（“”表示）で本体のFOLDER ▶ [PITCH +、] ボタン、またはリモコンのFOLDER ▶ [] ボタンを押します。移動後は、その移動後のフォルダー内の先頭のフォルダーもしくはトラックを表示します。
- 1つ上の階層に移動する場合は、本体のFOLDER ◀ [PITCH -、] ボタン、またはリモコンのFOLDER ◀ [] ボタンを押します。
- 1つ上の階層に移動したとき、移動前に展開していたフォルダーを表示します。



メモ

- ファイルを選択している状態（“”表示）では、本体のFOLDER ▶ [PITCH +、] ボタン、またはリモコンのFOLDER ▶ [] ボタンの操作は無効です。
 - 一番上（ルート）の階層のフォルダーまたはファイルを表示中は、本体のFOLDER ◀ [PITCH -、] ボタン、またはリモコンのFOLDER ◀ [] ボタンの操作は無効です。
4. ファイルを選択している状態（“”表示）で本体またはリモコンのPLAY/PAUSEボタンを押すと、選択しているファイルの再生を開始します。

ヒント

- 再生中にブラウズ機能を使うと、再生中のファイルを選択した状態になります。
- 再生範囲の設定により、ブラウズ機能でのファイル選択後に再生範囲が変わります。
再生範囲が“ALL PLAY”の場合は、選択したファイルからメディア全体を再生します。
再生範囲が“FOLDER”の場合は、選択したファイルを含むフォルダーに移動し、そのフォルダーが再生範囲になります。

メモ

- ブラウズ機能では、音楽ファイル以外のファイルのみで構成されるフォルダーや、フォルダー内にファイルを持たないフォルダーも、全て表示されます。
- 本機で再生可能な形式のファイルのみ表示されます。
- 移動したフォルダー内に再生可能な形式のファイルが無い場合、ディスプレイには“NO FILES”と表示されます。このときは、本体のFOLDER ◀ [PITCH -、] ボタン、またはリモコンのFOLDER ◀ [] ボタンを押して1つ上のフォルダーへ移動してください。
- 再生モードの設定がランダム再生モードおよびプログラム再生モードの場合は、ブラウズモードからの再生はできません。

第6章 ディレクトフォルダー機能

本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）にSDカードまたはUSBメモリー内の任意のフォルダーを登録し、登録したボタンを押すことで、SDカードまたはUSBメモリー内フォルダーを直接選択し、再生することのできる機能です。

この機能によって本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）に登録したフォルダーを、「ディレクトフォルダー」と表記します。最大10個ディレクトフォルダーに登録できます。

メモ

- このディレクトフォルダー機能は、SDカード / USBメモリーのみ利用可能な機能です。オーディオCDやデータCDでは使用できません。
- 本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）とリモコンの数字ボタン（1～10/0ボタン）は、同じ機能を使います。
- 本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）へのディレクトフォルダーの登録は、SDカードおよびUSBメモリーそれぞれについて行うことができます。
- ディレクトフォルダーの登録は、本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）の中で、SDカード内のフォルダーとUSBメモリー内のフォルダーを混在して登録することはできません。

ディレクトフォルダー設定について

本機では、本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）に登録したディレクトフォルダーの登録状況情報（ディレクトフォルダー設定）を、各メディア（SDカードもしくはUSBメモリー）に自動的に保存します。

CD-200SB設定ファイルは、SDカード / USBメモリーのルートに「cd-200sb.dat」を作成し、その中に保存されます。

ディレクトフォルダーなどが正しく動作しなくなる可能性がありますので、設定ファイルに変更を加えないでください。

- 自動保存は、メディアの再生停止中に行われます。
- 再生中 / 一時停止中に設定が更新された場合は、停止時に自動保存されます。

自動保存中は、ディスプレイに“WRITING”と表示されます。また、メディアに保存された設定は、次にメディアをセットするとき（もしくは電源投入時）に自動的に読み込まれるため、FOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）へのディレクトフォルダー設定がすぐに再現されます。



メモ

- SDカードまたはUSBメモリーに保存されたディレクトフォルダー設定は、他のCD-200SBでもそのメディアをセットするときに自動的に読み込まれるため、FOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）へのディレクトフォルダー設定が、すぐに再現されます。
- 再生中 / 一時停止中にディレクトフォルダー設定を変更した場合は、必ず再生を停止して設定をメディアに保存してください。

- SDカード / USBメモリーがライトプロテクト機能により、メディアへの書き込みが禁止されている場合は、ディレクトフォルダー設定をメディアに保存できません。この場合は、ディスプレイに“PROTECT”と数秒間表示され、操作前の表示に戻ります。



- メディアの空き容量が不足している場合には、ディレクトフォルダー設定をメディアへ書き込めません。この場合は、ディスプレイに“FULL”と数秒間表示され、操作前の表示に戻ります。



- 上記の書き込めない状況など、ディレクトフォルダー設定をメディアに書き込めない状態の時に本機の電源を切ると、ディレクトフォルダー設定は消去されます。

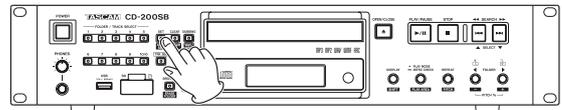
ディレクトフォルダーを登録する

本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）にSDカードまたはUSBメモリー内のフォルダーを、ディレクトフォルダーとして登録します。

登録には、個別で登録する方法と自動的に一括登録する方法があります。ただし、どちらの方法も登録は最大10個までとなります。

ディレクトフォルダーを個別に登録する

1. 本体またはリモコンのMEDIA SELECTボタンを押して、ディレクトフォルダーに登録したい音楽ファイル（フォルダー）が含まれているメディアを選択します。（→ 19ページ「再生メディアを選択する」）
2. 本体のSET [AUTO SET] ボタンまたはリモコンのSETボタンを押して、本機をディレクトフォルダー SETモードにします。



第6章 ダイレクトフォルダー機能

このとき、本体のSET [AUTO SET] インジケータが点灯し、ディスプレイに“SET”とカレントフォルダー名が交互に表示されます。



ダイレクトフォルダー未登録のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）のインジケータとCANCELインジケータは点滅し、すでに登録済みのFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）のインジケータは点灯します。

本体のCANCELインジケータが点滅中に本体またはリモコンのCANCELボタンを押すと、登録操作を中止し、通常再生モードに戻ります。

メモ

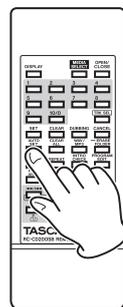
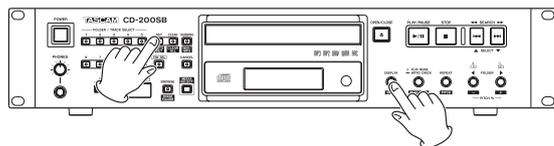
すでに登録済みの場合には、上書きによる登録の更新が可能です。（→ 33ページ「ダイレクトフォルダーを個別に更新する」）

- ダイレクトフォルダーとして登録するフォルダーを、本体またはリモコンのFOLDER ◀ / ▶ ボタンを使って選択（表示）します。
選択を変更する度に、ディスプレイに表示されるカレントフォルダー名が更新されます。
- インジケータが点滅しているダイレクトフォルダー未登録のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）を選択してボタンを押し、フォルダーを登録します。
登録が終了すると、ディスプレイに数秒間“DONE”と表示された後、通常再生モードに戻ります。



ダイレクトフォルダーを一括登録する（AUTO SET）

- 本体またはリモコンのMEDIA SELECTボタンを押して、ダイレクトフォルダーに登録したい音楽ファイルが入っているメディアを選択します。（→ 19ページ「再生メディアを選択する」）
- 停止中に本体のDISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらSET [AUTO SET] ボタンを押す、またはリモコンのAUTO SETボタンを押して、本機をダイレクトフォルダー AUTO SETモードにします。



このとき、本体のSET [AUTO SET] ボタンのインジケータが点滅し、ディスプレイに“AUTO SET”と表示されます。



- 再度、SET [AUTO SET] ボタンを押す、またはリモコンのAUTO SETボタンを押します。
自動的にダイレクトフォルダー未登録の1～10/0ボタンを確認し、ダイレクトフォルダー未登録の1～10/0ボタンに対して自動でフォルダーを登録します。
このとき、ディスプレイに“SETTING”と表示されます。



- 登録が終了すると、ディスプレイに数秒間“DONE”と表示された後、通常再生モードに戻ります。



本体のCANCELインジケータが点滅中に本体またはリモコンのCANCELボタンを押すと、登録操作を中止することができます。登録操作を中止後、通常再生モードに戻ります。

メモ

- すでに登録済みのFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）には、上書き登録（更新）はされません。
- 個別登録時のように、ダイレクトフォルダー未登録のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）のインジケータの点滅はありません。
- 登録されるフォルダーの優先順位は、「データCD / SDカード / USBメモリーのフォルダーとトラックについて」（20ページ）内に書かれているフォルダーサーチの優先順位と同じです。ただし、すでに登録されているフォルダーは除外されるため、同じフォルダーが、違うFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）に登録されることはありません。
- FOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）の登録順は、未登録番号中の若い番号からとなります。

ダイレクトフォルダーを個別に更新する

ダイレクトフォルダー登録時、インジケータが点灯している本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）は、ダイレクトフォルダーが登録済みです。

すでに登録済みのダイレクトフォルダーの内容を変更するには、上書きによる登録の更新が必要です。

1. 本体またはリモコンの**MEDIA SELECT**ボタンを押して、ダイレクトフォルダーに登録したい音楽ファイル（フォルダー）が含まれているメディアを選択します。（→ 19ページ「再生メディアを選択する」）
2. 本体の**SET [AUTO SET]** ボタンまたはリモコンの**SET**ボタンを押して、本機をダイレクトフォルダー SETモードにします。**FOLDER** ◀ / ▶ ボタンを押して、更新するフォルダーを選択します。
3. すでにダイレクトフォルダーを登録済み（インジケータ点灯）のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）を押すと、そのボタンのみインジケータが点滅になると同時に、他のボタンのインジケータが消灯します。
このとき、ディスプレイに“**UPDATE**”と表示され、登録更新操作待ち状態になります。



4. インジケータが点滅しているFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）を押すと、押したボタンに対してダイレクトフォルダーの登録を更新します。
また、本体の**CANCEL**インジケータが点滅しているときに、本体またはリモコンの**CANCEL**ボタンを押すと登録更新の操作を中止し、上記の手順2.の新規登録状態に戻ります。

メモ

ダイレクトフォルダーの更新によって、もとのメディア内のフォルダーやフォルダー内の音楽ファイルが消去されることはありません。

本体またはリモコンの**FOLDER** ◀ / ▶ ボタンでのフォルダー選択や、別のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）への登録が可能です。

ダイレクトフォルダーを再生する

本体のTRK SELインジケータが消灯しているとき、インジケータが点灯しているFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）には、カレントメディア（SDカードまたはUSBメモリ）のダイレクトフォルダーが登録されています。

インジケータが点灯しているFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）を押すと、そのボタンに登録されているフォルダーの再生を開始します。

ダイレクトフォルダーの再生時は、再生中のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）のインジケータがゆっくり点滅します。

ダイレクトフォルダー登録状況例

1 ボタン	2 ボタン	3 ボタン	4 ボタン	5 ボタン
01_FILE_1-1.wav 02_FILE_1-2.wav 03_FILE_1-3.wav 04_FILE_1-4.wav 05_FILE_1-5.wav 06_FILE_1-6.wav 07_FILE_1-7.wav 08_FILE_1-8.wav 09_FILE_1-9.wav 10_FILE_1-10.wav 11_FILE_1-11.wav 12_FILE_1-12.wav	01_FILE_2-1.mp3 02_FILE_2-2.mp3 03_FILE_2-3.mp3 04_FILE_2-4.mp3 05_FILE_2-5.mp3 06_FILE_2-6.mp3 07_FILE_2-7.mp3 08_FILE_2-8.mp3 09_FILE_2-9.mp3 10_FILE_2-10.mp3 11_FILE_2-11.mp3 12_FILE_2-12.mp3	01_FILE_3-1.wma 02_FILE_3-2.wma 03_FILE_3-3.wma 04_FILE_3-4.wma 05_FILE_3-5.wma 06_FILE_3-6.wma 07_FILE_3-7.wma 08_FILE_3-8.wma 19_FILE_3-19.wma 20_FILE_3-20.wma	ダイレクトフォルダー 未登録	01_FILE_5-1.wav 02_FILE_5-2.wav 03_FILE_5-3.wav 04_FILE_5-4.wav 05_FILE_5-5.wav 06_FILE_5-6.wav 07_FILE_5-7.wav 08_FILE_5-8.wav 09_FILE_5-9.wav 10_FILE_5-10.wav
6 ボタン	7 ボタン	8 ボタン	9 ボタン	10/0 ボタン
ダイレクトフォルダー 未登録	01_FILE_7-1.3gp 02_FILE_7-2.3gp 03_FILE_7-3.3gp 04_FILE_7-4.3gp 05_FILE_7-5.3gp 06_FILE_7-6.3gp 07_FILE_7-7.3gp 08_FILE_7-8.3gp 23_FILE_7-23.3gp 24_FILE_7-24.3gp	ダイレクトフォルダー 未登録	ダイレクトフォルダー 未登録	01_FILE_10-1.mp3 02_FILE_10-2.mp3 03_FILE_10-3.mp3 04_FILE_10-4.mp3 05_FILE_10-5.mp3 06_FILE_10-6.mp3 07_FILE_10-7.mp3 08_FILE_10-8.mp3 09_FILE_10-9.mp3 10_FILE_10-10.mp3 11_FILE_10-11.mp3 12_FILE_10-12.mp3

ダイレクトフォルダーの再生範囲を設定する

ダイレクトフォルダーは、下記の再生範囲設定に応じて再生されます。本体のDISPLAY [SHIFT] ボタンを押しながらPLAY MODE / INTRO CHECK [PLAY AREA] ボタンを押す、またはリモコンのPLAY AREAボタンを押して、再生範囲を設定します。（→ 21ページ「再生範囲を設定する」）

ALL PLAY

インジケータが点灯しているFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）の各ボタンを再生範囲として再生します。たとえば、1ボタンに登録されているフォルダーの最終トラック（12_FILE_1-12.wav）を再生後、次に登録のある2ボタンに登録されているフォルダーの1トラック目（01_FILE_2-1.mp3）から再生を継続します。



FOLDER (ディスプレイに“FOLDER”を表示)

インジケータが点灯しているFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）を押して、再生を開始したフォルダーを再生範囲として再生します。



ダイレクトフォルダーの再生モードを選択する

ダイレクトフォルダーは、下記の再生モードの設定に応じて再生されます。本体のPLAY MODE / INTRO CHECK [PLAY AREA] ボタンまたはリモコンのPLAY MODEボタンを押して、再生モードを選択します。（→ 21ページ「再生モードを選択する」）

連続再生モード

- 選択したダイレクトフォルダーについて、1トラック目から最終トラックまで再生します。
たとえば、1ボタンに登録されているフォルダーの1トラック目から最終トラックまで再生します。
- フォルダー内の最終トラックの再生後、再生範囲が“ALL PLAY”の場合は、次のダイレクトフォルダーの再生を開始します。
たとえば、1ボタンに登録されているフォルダーの最終トラック（12_FILE_1-12.wav）を再生後、次に登録のある2ボタンに登録されているフォルダーの1トラック目（01_FILE_2-1.mp3）から再生を継続します。
- 再生範囲が“FOLDER”で、かつリピート再生機能がオフのときは、最終トラックの再生終了後、停止します。
たとえば、1ボタンに登録されているフォルダーの最終トラック（12_FILE_1-12.wav）を再生後、停止します。
- ダイレクトフォルダーに登録されている最後のボタンの最終トラックを再生後は、再生範囲が“ALL PLAY”かつリピート再生機能がオンのとき、ダイレクトフォルダーの登録されている最初のボタンに戻り、再生を継続します。
たとえば、10/0ボタンに登録されているフォルダーの最終トラック（12_FILE_10-12.mp3）を再生後、1ボタンに戻り、最初のトラック（01_FILE_1-1.wav）から再生を継続します。

シングル再生モード

- 選択したダイレクトフォルダーについて、1トラック目を再生します。再生終了後、停止します。
- 再生中にトラックスキップすることで、2トラック目以降へ移動できます。移動先のトラックは、再生範囲の設定によって異なります。
たとえば、1ボタンに登録されているフォルダーの最終トラック（12_FILE_1-12.wav）まで到達したとき、再生範囲の設定が“ALL PLAY”の場合は2ボタンの1トラック目（01_FILE_2-1.mp3）へ、“FOLDER”の場合は1ボタンの1トラック目（01_FILE_1-1.wav）へトラックスキップします。
- リピート再生機能がオンのとき、再生中のトラックを繰り返し再生します。

ランダム再生モード

- 選択したダイレクトフォルダーについて、フォルダー内のトラックをランダム再生します。
たとえば、1ボタンに登録されているフォルダー内の全トラックをランダム再生します。
- フォルダー内の全トラックを再生後、再生範囲が“ALL PLAY”の場合は次のダイレクトフォルダーに移り、そのフォルダー内のトラックをランダム再生します。
たとえば、1ボタンに登録されているフォルダー内にある全トラックをランダム再生後、2ボタンに登録されているフォルダー内のトラックをランダム再生します。
- 再生範囲が“FOLDER”で、かつリピート再生機能がオフのとき、フォルダー内の全トラックを再生後、停止します。
たとえば、1ボタンに登録されているフォルダー内のトラックをランダム再生し、フォルダー内にある全トラックを再生後、停止します。
- ダイレクトフォルダーに登録されている最後のボタンの全トラックを再生後、再生範囲が“ALL PLAY”でかつリピート再生機能がオンのとき、ダイレクトフォルダーで登録されている最初のフォルダー内に移り、ランダム再生を開始します。
たとえば、10/0ボタンに登録されているフォルダー内の全トラックをランダム再生後、1ボタンに登録されているフォルダー内のトラックをランダム再生します。

プログラム再生モード

再生モードがプログラム再生モード（“PROG”表示）のときは、強制的に連続再生モードに変更しダイレクトフォルダーの再生をします。

プログラムが組まれている場合は、プログラムが消去されます。

ダイレクトフォルダーを再生中にフォルダーサーチ／ブラウズ機能で移動する

ダイレクトフォルダーを再生中にフォルダーサーチやブラウズ機能で移動した場合は、ダイレクトフォルダーの再生を中止します。

ALL PLAY

- **ダイレクトフォルダーを再生中にフォルダーサーチを行った時**
フォルダーサーチで選択したフォルダーに移動し、1トラック目から順にメディア全体を再生します。
- **ダイレクトフォルダーを再生中にブラウズ機能で移動した時**
ブラウズ機能で選択したファイルから再生を開始し、それ以降のトラックから順にメディア全体を再生します。

FOLDER（ディスプレイ“FOLDER”表示）

- **ダイレクトフォルダーを再生中にフォルダーサーチを行った時**
フォルダーサーチで選択したフォルダーに移動し、そのフォルダー内の1トラック目から再生します。
- **ダイレクトフォルダーを再生中にブラウズ機能で移動した時**
ブラウズ機能で選択したファイルから再生を開始し、そのフォルダー内のファイルを順に再生します。

ダイレクトフォルダーを消去する

本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）に登録したダイレクトフォルダーを、消去することができます。

消去には、個別で消去する方法と自動的に一括消去する方法があります。

メモ

ダイレクトフォルダーの登録を消去した場合は、登録されていたフォルダーやフォルダー内の音楽ファイル自身が消去される訳ではありません。

ダイレクトフォルダーの消去後も、本体またはリモコンのFOLDER ◀ / ▶ ボタンでのフォルダー選択や、別の本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）への登録が可能です。

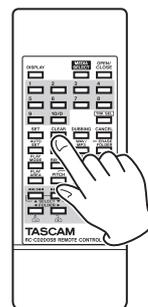
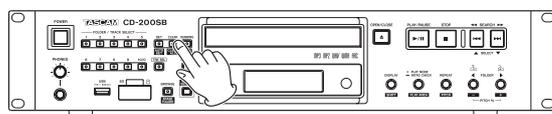
ダイレクトフォルダーの登録を個別に消去する

1. 本体またはリモコンのMEDIA SELECTボタンを押して、ダイレクトフォルダー登録されているメディアを選択します。
SDカードを選択した場合は“SD”が、USBメモリーを選択した場合は“USB”がディスプレイに表示されます。

メモ

セットしていないメディアは、選択できません。

2. 本体のCLEAR [CLEAR ALL] ボタンまたはリモコンのCLEARボタンを押します。



本体のCLEAR [CLEAR ALL] ボタンのインジケーターが点灯し、ディスプレイに“CLEAR”と表示されます。



ダイレクトフォルダーが登録されているFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）とCANCELボタンのインジケーターが点滅します。

操作を中止するには、本体のCANCELインジケーターが点滅中に、本体またはリモコンのCANCELボタンを押します。

操作を中止後、ディスプレイは消去操作前の表示に戻ります。

第6章 ダイレクトフォルダー機能

3. 点滅している1～10/0ボタンの中からフォルダー登録を消去したい1～10/0ボタンを押し、登録情報を消去します。
消去が終了すると、ディスプレイに数秒間“DONE”と表示された後、消去操作前の表示に戻ります。



4. 消去が終了すると、ディスプレイに数秒間“DONE”と表示された後、消去操作前の表示に戻ります。



本体のCANCELインジケータが点滅中に、本体またはリモコンのCANCELボタンを押すと、消去操作を中止することができます。

操作を中止後、ディスプレイは消去操作前の表示に戻ります。

ダイレクトフォルダーの登録を一括消去する (CLEAR ALL)

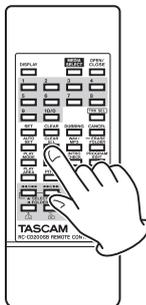
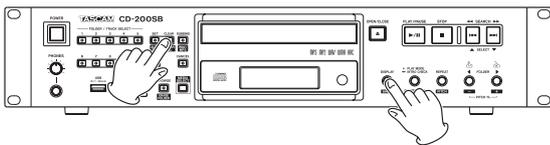
本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン (1～10/0ボタン) に登録されたダイレクトフォルダーを一括で消去できます。

1. 本体またはリモコンのMEDIA SELECTボタンを押して、ダイレクトフォルダー登録されているメディアを選択します。
SDカードを選択した場合は“SD”が、USBメモリーを選択した場合は“USB”がディスプレイに表示されます。

メモ

セットしていないメディアは、選択できません。

2. 本体のSHIFTボタンを押しながらCLEAR [CLEAR ALL] ボタンを押す、またはリモコンのCLEAR ALLボタンを押します。



本体のCLEAR [CLEAR ALL] ボタンのインジケータが点滅し、ディスプレイに“CLEARALL”と表示されます。



3. 再度、本体のCLEAR [CLEAR ALL] ボタンまたはリモコンのCLEAR ALLボタンを押します。
FOLDER / TRACK SELECTボタン (1～10/0ボタン) への登録を全て消去します。

本機のダビング（コピー）機能を使って、CDの内容をSDカード／USBメモリーへダビングすることができます。そのときに、ダビング先のファイルフォーマットを変換することができます。

ダビングの概要

本機のダビングは、再生モードの設定に関わらず、CDを連続再生しながらSDカード／USBメモリーにダビングを行います。

データCDからダビングを行う場合は、再生範囲の設定に応じてメディア全体（“ALL PLAY”）、もしくはカレントフォルダー（“FOLDER”）を、SDカード／USBメモリーにダビングします。ダビングでは、必ず新規にフォルダーを作成し、そのフォルダーにファイルを作成します。

複数フォルダーを持つデータCDをメディア全体（“ALL PLAY”）を選択してダビングした場合、全ての曲が1つのフォルダーにダビングされます。

ダビング操作によって既存のファイルが消去されることはありません。

ダビング先に選択した本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）、またはリモコンの数字ボタン（1～10/0ボタン）の番号に、ダイレクトフォルダーとして登録されます。

ダビング先のファイルフォーマットについて

本機のダビングは、ダビング先に書き込むファイルフォーマットを以下の中から選択することができます。

- WAV
- MP3 (HQ / MQ / LQ)

メモ

ダビングでは、ダビング先のメディアに “/music/albumXXX/”（“XXX” は001などの3桁の数字）フォルダーを作成し、CDのトラックごとに “trackXXX.wav or .mp3” というファイル名でファイルを作成します。

ダビング中の動作について

本機がダビング中、以下のような動作になります。

- ダビング中は、ダビングしているCDの音声が出力されます。
- ダビング中は、SDカード／USBメモリーの再生はできません。
- ダビング時のCD再生は、再生モードの設定に関わらず、連続再生モードで行います。

メモ

- ダビングに使用するSDカード／USBメモリーによっては、記録が音声入力に対して間に合わなくなる場合があります。このとき、CDの再生音が途切れたり、同じ場所（時間）を繰り返し再生することがありますが、SDカード／USBメモリーに記録される音声には影響ありません。
- オーディオCDをコピー元とする場合は、トラック間で音声が連続しているトラックをダビングすると、ダビング先での再生で、トラック間に無音部分が発生します。
- データCDをコピー元とする場合は、データCD内のファイルをそのままSDカード／USBメモリーにコピーする機能ではありません。コピー後のサンプリングレートは、コピー元のファイルのサンプリングレートによらず、全て44.1kHzに変換されます。また、以下の場合にはダビングを行うことができません。
 - SDカード／USBメモリーの内容をソースとしたダビングの場合
本機のダビングは、CD / データCDをソースとしたダビングのみ可能です。SDカード／USBメモリーの内容をソースとしたダビングはできません。
 - ダビング先メディアがライトプロテクトされている状態の場合
ディスプレイに “PROTECT” と数秒間表示され、操作前の表示に戻ります。



- ダビング先の空き容量がない場合

ディスプレイに “FULL” と数秒間表示され、操作前の表示に戻ります。また、ダビング中にダビング先の空き容量がなくなったときは、ディスプレイに “FULL” と数秒間表示し、ダビングを中止します。



ダビングする

1. コピー元となるCDをセットし、コピー元のCDがデータCDの場合は、本体またはリモコンの**MEDIA SELECT**ボタンを押して、コピー元のメディアをCDに設定します。（→ 19ページ「再生メディアを選択する」）

必要に応じて再生範囲を“**ALL PLAY**”もしくは“**FOLDER**”から選択します。

“**FOLDER**”を選択したときは、本体またはリモコンの**FOLDER** ◀ / ▶ ボタンを使って、ダビングしたいフォルダーを選択します。

メモ

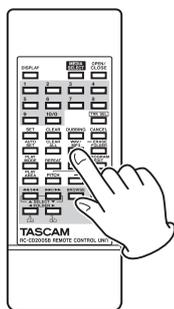
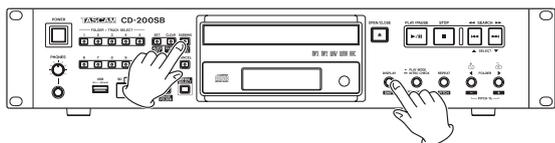
オーディオCDの場合は、この操作は不要です。

2. 本体またはリモコンの**MEDIA SELECT**ボタンを押して、ダビング先のメディア（SDカード / USBメモリー）を選択します。ディスプレイには、“**-SD-**”または“**-USB-**”と表示されます。

メモ

- SDカードまたはUSBメモリーのどちらかのみセットしている場合に、本体またはリモコンの**MEDIA SELECT**ボタン操作でのカレントメディア設定に関わらず、セットしたメディアにダビングされます。
- SDカードとUSBメモリーの両方をセットしている場合に、本体またはリモコンの**MEDIA SELECT**ボタンでCDあるいはSDカードを選択している時、CDからSDカードにダビングされます。**MEDIA SELECT**ボタンでUSBメモリーを選択しているときは、CDからUSBメモリーにダビングされます。

3. ダビング先には書き込むファイルフォーマットを、本体の**DISPLAY [SHIFT]** ボタンを押しながら**DUBBING [WAV/MP3]** ボタンを押す、またはリモコンの**WAV/MP3** ボタンを押して設定します。



→ DUB WAV → DUBMP3HQ → DUBMP3MQ → DUBMP3LQ

[ダビング先のファイルフォーマット・切り換え順]

ダビングのファイルフォーマット設定表

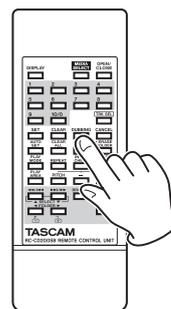
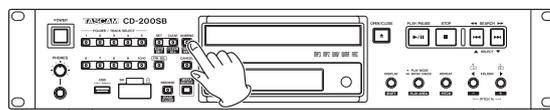
表示	ファイルフォーマット
DUB WAV	WAV 44.1kHz 16bit ステレオ
DUBMP3HQ (初期値)	MP3 44.1kHz 256kbps ステレオ
DUBMP3MQ	MP3 44.1kHz 128kbps ステレオ
DUBMP3LQ	MP3 44.1kHz 64kbps ステレオ

現在のフォーマットを表示中に、再度本体の**DISPLAY [SHIFT]** ボタンを押しながら**DUBBING [WAV/MP3]** ボタンを押す、またはリモコンの**WAV/MP3** ボタンを押すと設定を順に変更します。

メモ

ダビング（コピー）機能のダビング先ファイルフォーマット設定は、電源を切っても保持されます。

4. 本体の**DUBBING [WAV/MP3]** ボタンまたはリモコンの**DUBBING** ボタンを押します。



ダビング先メディアの確認を開始し、ディスプレイに“**WAIT**”と表示されます。



5. ダビング先メディアの確認が正常に終了すると、ダビング先となる**FOLDER / TRACK SELECT**ボタン（1~10/0ボタン）のインジケーターが点滅 / 点灯し、ディスプレイに“**SEL FLDR**”と表示されます。



このとき、ダイレクトフォルダーが未登録のインジケーターは点滅し、登録済みのインジケーターは点灯します。

6. ダビング先に選択した本体のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）、またはリモコンの数字ボタン（1～10/0ボタン）を押します。

ディスプレイに数秒間“PREPARE”と表示された後、ダビング中のトラックのカウンターが表示され、ダビングを開始します。



メモ

- ダビング動作では、インジケーターが点滅しているボタンおよび点灯しているボタンのどちらもダビング先として選択できます。
 - ダイレクトフォルダー未登録によりインジケーターが点滅しているFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）を押した場合は、ダビングの際にフォルダーが新規作成され、そのフォルダーが、ダイレクトフォルダーに自動登録されます。
 - ダイレクトフォルダー登録済みによりインジケーターが点灯しているFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）を押した場合でも、ダビングの際にフォルダーは新規作成され、登録の上書きによるダビングを行うことができます。（→ 39ページ「すでにダイレクトフォルダーを登録している1～10/0ボタンにダビングする」）
7. ダビング中に、インジケーターが点灯している本体、およびリモコンのCANCELボタンまたはSTOPボタンを押して、ダビング動作を中止することができます。
- 中止した場合は、ディスプレイに数秒間“CANCELED”と表示されます。



メモ

- 1トラック目のダビング中にダビングを中止した場合は、SDカード／USBメモリーにファイルは生成されません。ダビング開始時に生成したフォルダーは削除されます。
 - 2トラック目以降のダビング中にダビングを中止した場合は、ダビングを完了したトラックについてのみSDカード／USBメモリーにファイルが生成されます。また、ダビング開始時に生成したフォルダーは、手順6.で指定したFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）に登録されます。
8. CDの最終トラックまでダビングを終えると、ディスプレイに数秒間“FINISHED”と表示された後、ダビング操作前の表示に戻ります。また、ダビング開始時に生成したフォルダーは、手順6.で指定したFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）にダイレクトフォルダーとして登録され、そのFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）は点灯します。



メモ

ダビングによって作成されるフォルダーおよび音楽ファイルの日時情報は、現在の日時とは異なります。

すでにダイレクトフォルダーを登録している1～10/0ボタンにダビングする

ダビング操作で、すでに登録したダイレクトフォルダーでも、下記の操作により、上書きによる登録の更新が可能になります。

1. 本体のDUBBING [WAV/MP3] ボタンまたはリモコンのDUBBINGボタンを押した後に（本体のDUBBING [WAV/MP3] インジケーター点灯）、点灯しているFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）を押すと、そのボタンのインジケーターのみ点滅すると同時に、他のボタンは消灯します。
ディスプレイに“UPDATE”と表示され、登録更新操作待ち状態になります。



2. インジケーターが点滅しているFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）を再度押すと、ダビングを開始します。ダビング終了後、選択されたFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）への登録が更新されます。ダビング開始前の“UPDATE”表示時に、点滅している本体のCANCELボタンまたはリモコンのCANCELボタンを押すと、登録更新の操作を中止し、「ダビングする」の手順5.に戻ります。

メモ

FOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）への登録を更新した場合は、登録もとのメディア内のフォルダーやフォルダー内の音楽ファイルが消去されることはありません。本体またはリモコンのFOLDER ◀ / ▶ ボタンでフォルダー選択や、別のFOLDER / TRACK SELECTボタン（1～10/0ボタン）への登録が可能です。

ダビングによる記録時間について

各ファイルフォーマットにおける、SD / SDHCカード、USBメモリー容量別のダビングによる記録時間を以下の表に示します。

ファイルフォーマット（ダビング時の設定）			SDカード / USBメモリー			
			1GB	2GB	4GB	8GB
WAV (STEREO)	16bit	44.1kHz	1時間34分	3時間08分	6時間17分	12時間35分
MP3 (STEREO)	64kbps (LQ)	44.1kHz	34時間42分	69時間25分	138時間35分	277時間29分
	128kbps (MQ)	44.1kHz	17時間21分	34時間42分	69時間17分	138時間44分
	256kbps (HQ)	44.1kHz	8時間40分	17時間21分	34時間38分	69時間22分

- 上記記録時間は目安です。ご使用のSD / SDHCカード、USBメモリーにより異なる場合があります。
- 上記記録時間は連続記録時間ではなく、SD / SDHCカード、USBメモリーに可能な記録合計時間です。

第8章 フォルダーイレース機能

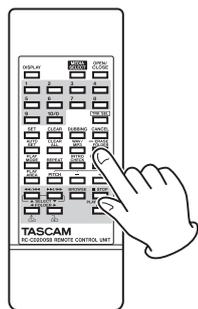
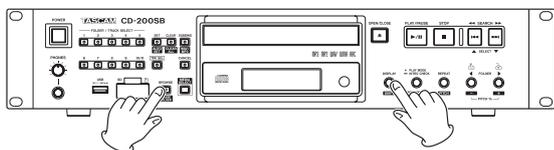
本機は、SDカード／USBメモリー内にある不要な音楽ファイルをフォルダー単位で一括削除することができます。

注意

- ファイル単位では、削除できません。
- 指定したフォルダーに含まれるファイルは、音楽ファイルに限らず、またファイル属性 (Read Onlyなど) に関わらず削除されます。

フォルダーを削除する

1. 削除するフォルダーがあるメディア (SDカードまたはUSBメモリー) を、**MEDIA SELECT** ボタンを押して選択します。
2. 本体の**DISPLAY [SHIFT]** ボタンを押しながら**BROWSE [ERASE FOLDER]** ボタンを押す、またはリモコンの**ERASE FOLDER** ボタンを押して、フォルダーイレースモードを起動します。



このとき本体の**BROWSE [ERASE FOLDER]** インジケーターと**CANCEL**インジケーターが点滅し、ディスプレイに“**ERASE**”と現在のフォルダー名が交互に表示されます。



3. 現在選択しているフォルダーを削除する場合は、このまま次の手順4. の操作へ進んでください。
削除したい音楽ファイルのフォルダーが現在選択しているフォルダーでない場合は、本体の**FOLDER / TRACK SELECT** ボタン (1～10/0ボタン) またはリモコンの数字ボタン (1～10/0ボタン)、または本体またはリモコンの**FOLDER ◀ / ▶** ボタンで、削除したいフォルダーを選択します。

メモ

この段階でフォルダーイレースを中止したい場合は、点滅している**CANCEL**ボタンを押します。
ディスプレイの表示が、フォルダーイレース操作をする前の状態に戻ります。

4. フォルダーを選択した状態で、再度本体の**BROWSE [ERASE FOLDER]** ボタンまたはリモコンの**ERASE FOLDER** ボタンを押すと、フォルダーが削除されます。

削除動作中の数秒間は、ディスプレイに“**ERASING**”と表示されます。



選択しているフォルダーにサブフォルダーが無い場合には、そのフォルダーを含み、音楽ファイルに限らず全てのファイルを削除します。その結果、1つ上の階層のフォルダー内にフォルダーやファイルが1つも無い状態になった場合でも1つ上の階層のフォルダーは削除しません。

選択しているフォルダーにサブフォルダーがある場合には、サブフォルダー内のファイルを除き、音楽ファイルに限らず全てのファイルを削除します。

メモ

- 本体の**FOLDER / TRACK SELECT** ボタン (1～10/0ボタン) に登録しているフォルダーを削除した場合には、**FOLDER / TRACK SELECT** ボタン (1～10/0ボタン) の登録が自動的に消去されます。
- SDカード／USBメモリーがライトプロテクト機能により、メディアへの書き込みが禁止されている場合は、フォルダーイレースできません。この場合は、ディスプレイに“**PROTECT**”と数秒間表示され、操作前の表示に戻ります。



第9章 メッセージ

動作メッセージ

本機の動作に応じて、ディスプレイのメイン表示部に以下のメッセージが表示されます。

メッセージ	メッセージ表示 点灯/点滅	内容	対処方法
CANCELED	点灯	各種操作を中断しました。	
-CLEAR-	点灯	カレントメディアのプログラムを消去しました。	
CLOSE	点灯	ディスクトレイを閉じています。	
DONE	点灯	各種操作を完了しました。	
ERASING	点灯	フォルダーを削除中です。メディアを抜かないでください。	
FINISHED	点灯	各種操作を完了しました。	
LOADING	点灯	メディア情報を読み込んでいます。	
NO DISC	点灯	ディスクがありません/ディスクを検出できませんでした。	
NO FILES	点灯	ディスクやメディアに再生可能なファイルが1つもありません。	再生可能ファイルの記録されたディスクやメディアをセットしてください。
NO MEDIA	点灯	メディアがありません。	
NO NAME	点灯	表示可能なアーティストデータ/ファイルデータがありません。	
NO TITLE	点灯	表示可能なタイトルデータがありません。	
OPEN	点灯	ディスクトレイが開いています。	
SETTING	点灯	AUTO SET実行中です。メディアを抜かないでください。	
TOC READ	点灯	TOC情報を読み込んでいます。	
WAIT	点灯	ファイル処理中です。メディアを抜かないでください。	
WRITING	点灯	メディアに情報を書き込み中です。 メディアを抜かないでください。	

警告メッセージ

操作を受け付けない場合は、以下のような警告メッセージを表示します。約2秒間表示された後、自動的に消えます。

メッセージ	メッセージ表示 点灯/点滅	内容	対処方法
FULL	点灯	空き容量がありません。	不要なファイルを削除するか、メディア交換してください。*
NO MEDIA	点灯	メディアがありません。	メディアを正しく接続しているか確認してください。それでも改善しない場合は、他のメディアに交換してください。
NO PGM	点灯	プログラムが設定されていません。	プログラムを設定してください。
PGM FULL	点灯	プログラム登録がいっぱいです。	プログラム登録は、99曲までです。 プログラムを消去してから登録し直してください。
PROTECT	点灯	SDカード/USBメモリーがライトプロテクトされています。	ライトプロテクトを解除してください。
WRT ERR	点灯	ファイルを作成できません。	メディアをパソコンでフォーマットしてください。 それでも改善しない場合は、他のメディアに交換してください。

* Macの操作でファイルを削除する場合は、「ごみ箱」を空にしてからSDカード/USBメモリーを取り外してください。

エラーメッセージ

以下のエラーメッセージが表示されたときは、対処方法を参考に原因を解消してください。それでも改善しない場合は、ティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。

メッセージ	メッセージ表示 点灯／点滅	内容	対処方法
COMM ERR	点滅	CDドライブとの通信ができません。	ティアック修理センターにご相談ください。
COMM ERR	点灯	CDドライブとの通信でエラーが発生しています。	ティアック修理センターにご相談ください。
DEC ERR	点灯	サポート外のファイルであるか、ファイルを再生できません。	ディスクやメディアを交換してください。
DISC ERR	点灯	TOCやファイルシステムが読み出せないか、フォーカス調整ができません。	ディスクをクリーニングするか、交換してください。
DRV ERR	点灯	CDドライブのハードウェアが故障しています。	ティアック修理センターにご相談ください。
MEDIAERR	点灯	ファイルシステムが読み出せません。	メディアをパソコンでフォーマットしてください。それでも改善しない場合は、他のメディアに交換してください。
PATH ERR	点灯	パスが長過ぎるか、認識できない文字が含まれている可能性があります。	ファイルの拡張子までを含めたパスがASCII文字で255byteに収まるようにフォルダー名、ファイル名を見直してください。（最大フォルダー階層：16）
READ ERR	点灯	曲にアクセスできません。	ディスクをクリーニングするか、交換してください。

第10章 トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。
それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

- 電源が入らない。

↓

- 本機の電源プラグが適切な電源が来ているコンセントにしっかりと差し込まれていますか？

- リモコンから操作できない。

↓

- リモコンの電池が入っていないか、消耗していませんか？

- 音が出ない。

↓

- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。
- アンプの音量や設定を確認してください。

- 雑音がする。

↓

- 接続ケーブルが接触不良になっていませんか？

- CDを再生できない。

↓

- MP3ファイルを収録したデータCDの場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。
- ディスクに傷や汚れが付いていませんか？

- データCD / SDカード / USBメモリーにて、全曲再生できない。

↓

- フォルダ再生モードになっていませんか？

- プログラム再生ができない。

↓

- 再生範囲が“ALL PLAY”になっていませんか？
データCD / SDカード / USBメモリーの場合は、再生範囲を“FOLDER”にする必要があります。

定格

対応メディア

CD、CD-R、CD-RW
(12cm、8cm、マルチセッション、CDテキスト対応)

下記のメディアは、FAT16/32でフォーマットされている必要があります。

USB (4GB~64GB)
SD (2GB)
SDHC (4GB~32GB)

再生ファイル形式

CD-DA : 44.1kHz、16bit ステレオ
MP2 : 32k/44.1k/48kHz、32kbps ~ 320kbps
(データCD / SDカード / USBメモリー)
MP3 : 32k/44.1k/48kHz、32kbps ~ 320kbps、VBR
(データCD / SDカード / USBメモリー)
WAV : 8k/16k/32k/11.025k/22.05k/44.1k/12k/24k/
48kHz、16bit
(データCD / SDカード / USBメモリー)
AAC* : 32k/44.1k/48kHz、32kbps ~ 320kbps、VBR
(SDカード / USBメモリー)
WMA** : 32k/44.1k/48kHz、32kbps ~ 384kbps、VBR
(SDカード / USBメモリー)

* AACはDRM非対応

** WMAはVer.9 Standardに準拠し、DRM非対応

ダビングのファイル形式

WAV : 44.1kHz、16bit ステレオ
MP3 : 44.1kHz、64k/128k/256kbps

出力定格

アナログオーディオ出力定格

ANALOG OUTPUT (BALANCED) 端子

コネクタ : XLR-3-32
(1 : GND、2 : HOT、3 : COLD)
出カインピーダンス : 200Ω
規定出力レベル : +4dBu (1.23Vrms)
最大出力レベル : +20dBu (7.75Vrms)

ANALOG OUTPUT (UNBALANCED) 端子

コネクタ : RCAピンジャック
出カインピーダンス : 200Ω
規定出力レベル : -10dBV (0.32Vrms)
最大出力レベル : +6dBV (2.0Vrms)

PHONES端子

コネクタ : 6.3mm (1/4")
ステレオ標準ジャック
最大出力レベル : 20mW+20mW以上
(THD+N 0.1%、32Ω)

デジタルオーディオ出力定格

DIGITAL OUTPUTS (COAXIAL) 端子

コネクタ : RCAピンジャック
対応信号フォーマット : IEC-60958-3民生用規格準拠
(S/PDIF)

DIGITAL OUTPUTS (OPTICAL) 端子

コネクタ : オプティカル
対応信号フォーマット : IEC-60958-3民生用規格準拠
(S/PDIF)

オーディオ性能

周波数特性

20Hz ~ 20kHz : ±1.0dB (再生時、JEITA)

S/N比

90dB以上 (再生時、JEITA)

歪率

0.01%以下 (再生時、JEITA)

ダイナミックレンジ

90dB以上 (再生時、JEITA)

チャンネルセパレーション

90dB以上 (再生時、JEITA)

バックアップメモリー

本機は、電源をオフにしても以下の設定をバックアップします。

時間/タイトル表示設定
再生モード
プログラム (CD / SDカード / USBメモリー)
カレントフォルダー (CD / SDカード / USBメモリー)
メディアセレクト
リピート再生機能の設定 (オン/オフ)
ピッチコントロール (オン/オフ、CD)
ピッチコントロール値 (CD)

一般

電源

AC100 V、50-60Hz

消費電力

11W

外形寸法

481x94.5x 298mm (幅 x 高さ x 奥行き)

質量

4.7kg

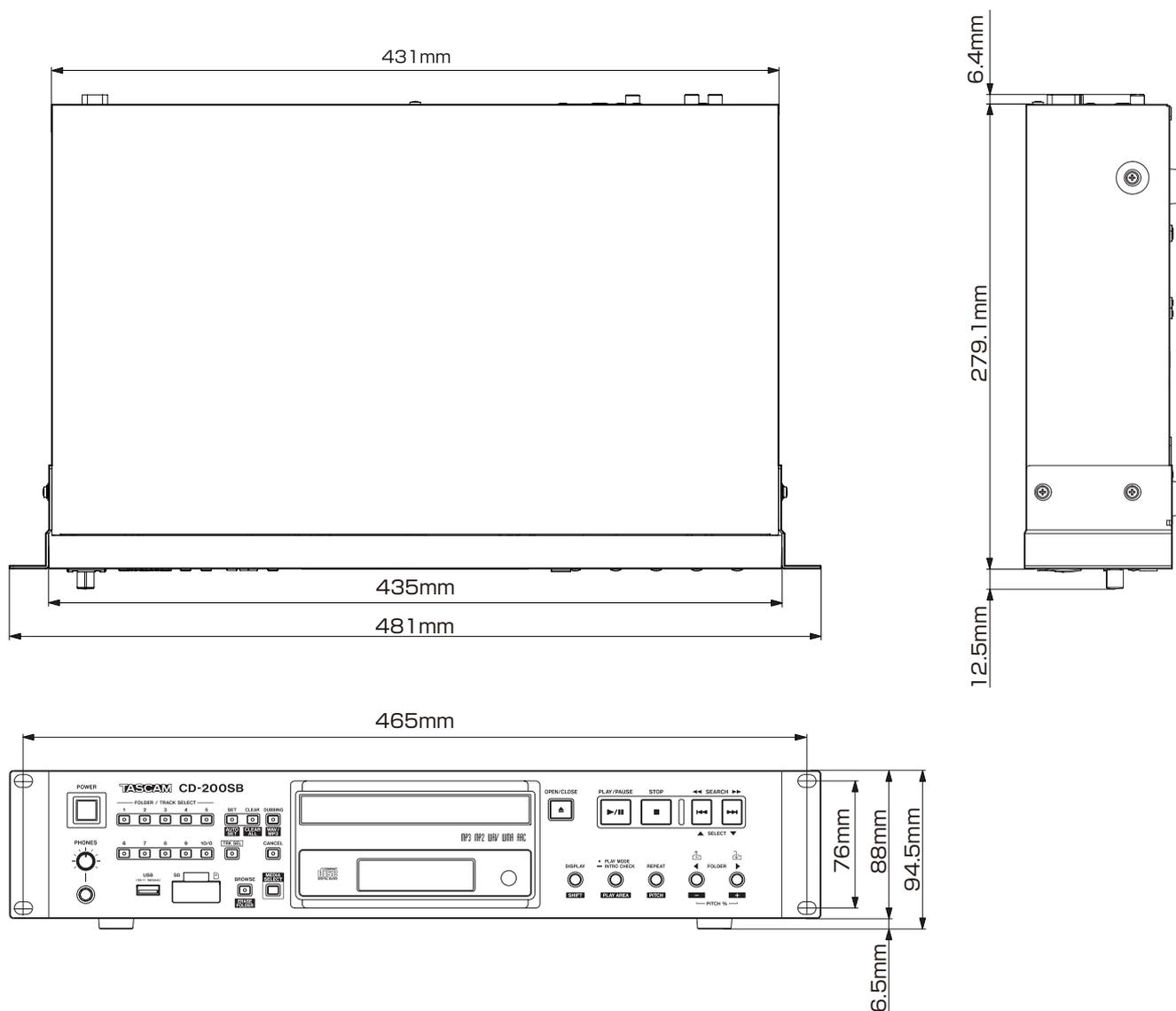
動作温度

5 ~ 35°C

設置時傾斜

5度以内

寸法図



- * 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- * 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://tascam.jp/>